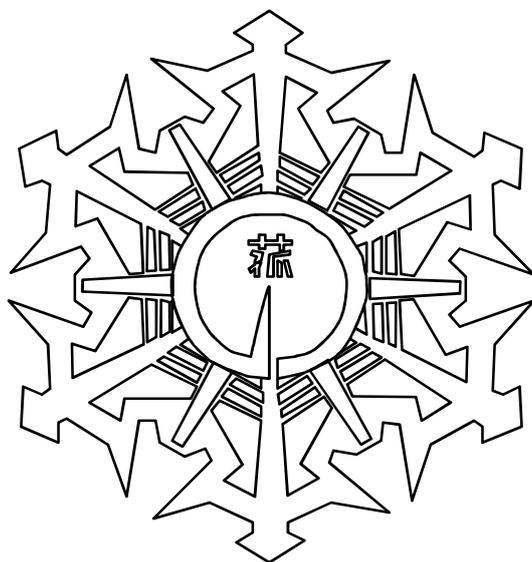


# 消防年報

30周年記念号



三重県  
菰野町消防本部  
(平成27年版)

# はじめに

本書は、菰野町消防本部発足 30 周年を記念して当町の消防諸般の状況を記録し、将来の消防行政運営上の指針とするため編集しました。

なお、統計資料のうち 30 周年の記録以外の項につきましては特に記載のあるものを除き、平成 26 年中をもって表しました。

平成 27 年 7 月

三重県 こものちょう 菰野町消防本部

## 菰野町消防本部発足30周年を迎えて



菰野町長

石原正敬

菰野町消防本部は、昭和60年に時代の要請と地域住民の大きな期待のなかで発足し、町単独消防ならではの地域住民と密着した消防行政の実現を目指し、消防本部・消防団の組織体制及び教育訓練の充実をはじめ、消防施設装備の近代化の推進による消防防災体制の強化を図り、今日まで着実に歩みを進めてまいりました。

この間、消防関係各位のご指導ご支援をはじめ、地域住民の皆様方のご理解ご協力をいただき、ここに30周年を迎えることができましたこと心より厚く感謝を申し上げます。

近年は、社会情勢の変化による火災や事故の複雑多様化や救急需要の増加に加えて、東日本大震災などの大地震、豪雨による水害などの自然災害など、災害の態様も多岐にわたり日々変化してきております。この傾向は菰野町も例外ではなく救急件数が発足初期の三倍以上に増加したほか、豪雨による被害も被っており、消防に課せられた使命は、ますます重大になってきております。

今後は、平成30年度の新名神高速道路の供用開始に向けた体制強化や平成28年度からの消防救急無線のデジタル化及び通信指令業務共同化に向けての準備はもとより、南海トラフ巨大地震などの発生に備えた自助、共助、公助の連携による更なる防災減災体制の充実を図るために全力を傾注してまいりますので、これからも皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げましてご挨拶といたします。

## 30周年記念号の発刊にあたり



菰野町消防長

白木 康裕

菰野町消防本部・消防署が時代の要請と地域住民の大きな期待のなかで昭和60年に発足し、ここに30周年を迎えることが出来ましたのも消防関係諸先輩のご指導はもとより、町民各位の深いご理解・ご支援の賜物であり厚く感謝申し上げます。

これまでを振り返りますと、発足当時約3万人であった人口は4万1千人へ、防火対象物の数も386棟から1,056棟へ増加するなど都市化への進展を示し、同時に災害要因も多様化の様相を呈し、救急件数にあつては1,400件を超え消防需要も増加の一途を辿っております。

消防体制といたしましては、当初30名で発足した職員数を46名まで増員するとともに、車両は5台から10台へ増強し計画的に強化を図ってまいりました。また、平成28年度からは、消防・救急無線のデジタル化とともに通信指令業務の共同運用を開始する予定となっており、広域連携体制の充実によるさらなる体制強化が図られることとなります。

社会環境が刻々と変化して行く中、これからは火災や救急はもとより大規模な自然災害や地域社会に脅威を与える危険や不安などにも的確に対応し、町民の期待に応えられるよう、安全安心の確保に全力で取り組むことが、消防職団員すべての使命であり、減災に繋げていかなければならないと考えております。

関係各位におかれましては、今後とも菰野消防に対し、一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、発足30周年を迎えてのご挨拶といたします。

# 目 次

## 30年の記録

菰野消防のあゆみ	1
歴代消防長	5
30周年記念写真集	6
職員数及び平均年齢の推移	16
一般会計予算に占める消防費の割合の推移	17
管内人口の推移	18
消火栓数の推移	19
防火対象物数の推移	20
危険物施設数の推移	21
火災（種別）件数の推移	22
火災（地区別）件数の推移	23
救急出動件数の推移	24
救助出動件数の推移	25

## 消 防 情 勢

菰野町の概要・位置図	26
平成26年中の主な行事	27
消防本部・消防署の組織・機構及び事務分掌	28
消防予算	29
一般会計予算に占める消防費の割合 消防費に対する人口・世帯当り額	
消防力の整備指針と現有消防力の比較	30
職員階級別・所属別配置状況	31
職員階級別勤続年数状況	
職員階級別年齢状況	32
外部研修等派遣状況	33
各種訓練実施状況	34
消防本部（署）庁舎の概要	

通信施設状況	35
現有消防車両	36
消防水利状況	
応急手当普及啓発活動実施状況	37
自主防災組織	38
緊急避難所	39
収容避難所・収容避難所を補完する施設	40

## 消 防 団

菰野町消防団の沿革	41
歴代消防団長（合併以降）	
消防団の機構・団員数	42
年齢別及び階級別消防団員数	43
在職年数別消防団員数	
消防団員報酬	
消防団員各種手当	
消防団員職業別構成表	44
消防団消防車両配置状況	

## 予 防

防火対象物現況	45
用途別建築同意状況	46
工事別建築同意状況	47
過去5年間の建築同意状況	
危険物施設現況	48
危険物施設許可認可状況	
各種届出処理状況	49
消防用設備等設置検査実施状況	
広報・啓発活動状況	50

## 火 災

火災発生状況	51
過去5年間の火災発生状況	
地区別火災発生状況	52
月別火災発生状況	
曜日別火災発生状況	

時間別火災発生状況	53
火災出場状況	
出場区分詳細	
火災発生状況及び出火原因状況	54
絵で見る火災原因	58

## 救 急・救 助

救急事故発生状況	59
過去5年間の救急事故発生状況	
事故種別救急出場件数・搬送人員	60
現場到着所要時間別救急件数	
収容所要時間別救急搬送人員	
年齢区分別救急搬送人員	61
傷病程度別救急搬送人員	
時間別救急出場件数	
地区別救急出場状況	62
月別救急出場状況	
曜日別救急出場状況	
年齢区分別・傷病程度別救急搬送人員	63
事故種別・年齢区分別救急搬送人員	
事故種別・傷病程度別救急搬送人員	
事故種別・時間別救急出場件数	64
事故種別・応急処置件数	
事故種別・医療機関別救急搬送人員	65
救助出場状況	66
事故種別出場件数・救助人員	68
事故種別・救助出場人員	
事故種別・救助出場車両	

## 気 象

月別気象状況と火災件数	69
月別気温概況	70
月別降水量概況	
月別湿度概況	71
月別風速概況	
気象通報受信状況	72

# 30年の記録



菰野町消防本部は昭和60年の発足から30年を迎えました。これまでの出来事を写真で振り返ります。

三重県防災航空隊により撮影  
平成26年9月10日  
於：菰野町消防本部とその周辺

# 菰野消防のあゆみ

明治27年(1894)

消防制度が統一され、当時の菰野村、鶴川原村、竹永村、朝上村、千種村の5村に消防組が組織される。

昭和3年(1928)

町制施行により菰野村が菰野町となる。

昭和14年(1939)

警察消防体制の確立により5町村の消防組が警防団に改められる。

昭和23年(1948)

消防組織法の施行により5町村の警防団が消防団として組織される。

昭和30年(1955)

4. 町村合併促進法の制定により朝上村と千種村が合併し、朝明村となり朝明村消防団が組織される。

昭和31年(1956)

9. 菰野町と鶴川原村、竹永村が合併し菰野町となり、菰野町消防団、朝明村消防団の2団となる。

昭和32年(1957)

1. 菰野町と朝明村が合併し菰野町となり、同時に菰野町消防団(団員数159名)に統一され菰野分団、鶴川原分団、竹永分団、朝上分団、千種分団の5分団で組織される。

昭和41年(1966)

7. 湯の山地区自警団が湯の山分団となり、全6分団となる。

昭和43年(1968)

1. 菰野町役場に本部班が設置される。

昭和58年(1983)

4. 本部班が本部分団となり、全7分団となる。
7. 三重県消防操法大会に本部分団が出場し、優勝する。
- 9.30 町議会に常備消防特別委員会設置。

昭和59年(1984)

3. 5 自治省消防庁より昭和59年度における消防本部及び消防署義務設置町村政令指定(内容)を受ける。
7. 三重県消防操法大会に朝上分団が出場し、優勝する。
- 7.19 消防庁舎建設工事着工。
- 8.24 日本消防協会より救急車(2B型)の寄贈を受ける。
- 10.21 役場庁舎において救急業務開始。(総務課消防防災係16名)

昭和60年(1985)

- 1.31 消防庁舎完成。(コミュニティ防災センターを併設)
- 2.14 消防庁舎において試行業務開始。
- ※ 4.1 菰野町消防本部・消防署発足。  
消防本部に消防課、予防課を置き、消防署に警防課を置く。  
定数31名 車両 5台
- 4.2 消防庁舎竣工式及び開署式。

昭和61年(1986)

- 3.25 ポンプ車(CD-I型)購入。
- 11.19 普通貨物自動車(4WD)購入。

昭和62年(1987)

- 2.26 はしご車(30m級)購入。
- 10.14 (社)日本損害保険協会より救助工作車の寄贈を受ける。
- 10.28 広報車購入。

昭和63年(1988)

- 4.12 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得。
- 4.21 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得。
- 7.27 消防救助技術東海地区指導会水上の部(溺者救助)にて入賞。
- 8.19 全国消防救助技術大会水上の部(溺者救助)にて入賞。

平成元年(1989)

- 1.24 救急車(2B型)購入。
- 4.18 菰野ライオンズクラブより広報車の寄贈を受ける。

平成2年(1990)

- 8.2 消防救助技術東海地区指導会水上の部(溺者救助)にて入賞。
- 8.24 全国消防救助技術大会水上の部(溺者救助)にて入賞。
- 10.12 全国消防操法大会に朝上分団が出席し、優良賞を獲得。

平成4年(1992)

- 4.10 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得。
- 4.23 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得。

平成5年(1993)

- 12.24 訓練塔敷地造成工事開始。  
菰野町の婦人消防隊が全国婦人消防操法大会に出席する。

平成6年(1994)

- 4.1 菰野町職員定数条例(消防職員)改正。(定数33名)
- 4.8 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得。
- 4.27 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得。
- 10.13 全国消防操法大会に菰野分団が出席し、敢闘賞を獲得。

平成7年(1995)

- 2.16 水槽付ポンプ車(水-I A型)購入。
- 3.18 訓練塔竣工式。
- 12.22 消毒室完成。

平成8年(1996)

- 3.18 (社)日本損害保険協会より高規格救急車の寄贈を受ける。
- 4.22 緊急消防援助隊旗の伝達を受ける。
- 12.13 指令車購入。
- 12.20 菰野町職員定数条例(消防職員)改正。(定数40名)

平成9年(1997)

- 2.14 第49回日本消防協会定例表彰式において特別表彰「まとい」を受章する。
- 4. 1 菰野町防災行政無線による広報を開始。
- 5.15 救急救命士が誕生。
- 8. 8 三重県消防操法大会に鶴川原分団が出場する。

平成10年(1998)

- 2. 4 ポンプ車(CD-I 型)購入。
- 4. 1 救急救命士業務の運用を開始。
- 10.15 携帯電話による119番通報受信業務を開始。
- 11.24 積載車(4WD)購入。

平成11年(1999)

- 1.21 広報車購入。
- 6. 2 救急救命士24時間体制開始。
- 8.19 全国消防救助技術大会陸上の部(ロープブリッジ渡過)に出場。

平成12年(2000)

- 4.14 三重県消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得。
- 4.20 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得。

平成13年(2001)

- 3. 7 高規格救急車購入。
- 3.10 新通信指令室の運用を開始。

平成14年(2002)

- 4. 1 消防職員服制改正。

平成15年(2003)

- 8.27 全国優良消防職員表彰受賞。
- 12. 6 救急医療功労者知事表彰受賞。

平成16年(2004)

- 4. 1 三重県防災航空隊へ職員1名を派遣(3年間)。
- 9. 3~4 三重県緊急消防援助隊野営訓練及び合同訓練を菰野町で実施。

平成17年(2005)

- 8. 3 救急救命士1名が気管内挿管講習及び実習修了。
- 8. 8 携帯119番直接受信開始。
- 10. 1 三重県内消防相互応援協定に基づく境界付近の応援に関する覚書を締結。

平成18年(2006)

- 2.22 高規格救急車購入。
- 7.13 救急救命士1名が薬剤投与追加講習及び実習修了。
- 7.22 三重県消防操法大会に竹永分団が出席し、準優勝する。

平成19年(2007)

- 1.30 水槽付ポンプ車(水-I A型)購入。
- 8.22 全国消防救助技術大会陸上の部(ロープブリッジ渡過)にて入賞。

平成20年(2008)

- 3.14 救助工作車購入。
- 3~9 救急救命士3名が薬剤投与追加講習及び実習修了。
- 4.11 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得。
- 4.17 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得。
- 8.28 全国優良消防職員表彰受賞。
- 12.12 指揮車購入。

平成21年(2009)

- 4. 1 三重県消防学校教官として職員1名を派遣(3年間)。
- 6.25 救急救命士1名が薬剤投与追加講習及び実習修了。
- 8. 1 Eメール119番通報の運用開始。
- 11.30 耐震性貯水槽第1号が完成。

平成22年(2010)

- 4. 9 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得。
- 4.16 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得。
- 12. 2 高規格救急車購入。

平成23年(2011)

- 4.27 火災時における消防活動業務の協力に関する協定を締結。

#### 平成24年(2012)

- 4. 1 菟野町職員定数条例(消防職員)改正。(定数46名)
- 4. 1 三重県消防学校教官として職員1名を派遣(3年間)。
- 4.13 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得。
- 4.20 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得。
- 8. 1 位置情報通知システム(統合型)導入。
- 12.27 広報車購入。

#### 平成25年(2013)

- 8.21 全国優良消防職員表彰受賞。
- 11.18 救急医療功労者知事表彰受賞。

#### 平成26年(2014)

- 3.24 はしご車購入。
- 11. 8 全国消防操法大会に朝上分団が出場し、敢闘賞を獲得する。
- 12. 5 ポンプ車(CD- I型CAFS付)購入。

## 歴代消防長

初代	大倉 二郎	自	昭和60年 4月 1日	至	昭和61年 3月31日
二代	田邊 正男	自	昭和61年 4月 1日	至	平成 3年 3月31日
三代	藤田 徹	自	平成 3年 4月 1日	至	平成 7年 3月31日
四代	石原 俊秀	自	平成 7年 4月 1日	至	平成11年 3月31日
五代	内田 芳隆	自	平成11年 4月 1日	至	平成13年 3月31日
六代	金津 正義	自	平成13年 4月 1日	至	平成16年 3月31日
七代	秦 隆	自	平成16年 4月 1日	至	平成18年 4月27日
八代	増田 幸生	自	平成18年 5月 1日	至	平成19年 3月31日
九代	川嶋 正典	自	平成19年 4月 1日	至	平成21年 3月31日
十代	内田 眞伸	自	平成21年 4月 1日	至	平成25年 3月31日
十一代	白木 康裕	自	平成25年 4月 1日	現	職

# 1985~1991

1985 昭和60年  
消防庁舎完成  
菰野町消防本部、消防署  
が発足し職員31名、車  
両5台で業務を開始しま  
した。



1987 昭和62年  
救助工作車寄贈を受ける  
(社)日本損害保険協会  
より寄贈されたこの車両  
は後部にクレーンを備え  
当時最新の救助資器材を  
積載し、現場で活躍しま  
した。



1988 昭和63年  
 全国消防救助  
 技術大会出場  
 全国消防救助技術大会に  
 出場し、溺者救助部門に  
 て入賞しました。



1989 平成元年  
 救急車の更新  
 ボディは開署から使用し  
 ている救急車と同タイ  
 プのものを採用し、この  
 車両から車内に携帯電  
 話が装備されました。



1990 平成2年  
 朝上分団全国大会で活躍  
 朝上分団が消防操法県大  
 会において優勝し、全  
 国大会で見事に優良賞  
 を獲得しました。



火災予防活動に一役  
 消防自動車写生大会に加  
 え蘇野町で初の防火習字  
 競書会を開催しました。



# 1992～1997

1992 平成4年  
消防職員意見発表会  
三重県消防職員意見発表会において最優秀賞を獲得し、東海地区大会に出場しました。



1993 平成5年  
他機関との活動  
県防災ヘリコプター運行開始に伴い応援協定が締結されました。菰野町内では主に山岳救助活動で連携した活動を実施しています。



婦人消防隊全国大会へ  
菰野町の婦人消防隊が三重県を代表し、全国婦人消防操法大会に出場しました。



1994 平成6年  
普通救命講習会始まる  
応急手当の普及、救命率の向上を目的に菰野町でも町民を対象とした講習会が開催されています。



菰野分団全国大会で活躍  
菰野分団が消防操法大会町大会、県大会において優勝し、全国大会でも見事に敢闘賞を獲得しました。



1995 平成7年  
訓練塔竣工

4階建て鉄筋コンクリート造のこの施設は火災、救助等様々な想定の実訓練を行うことが可能となりました。



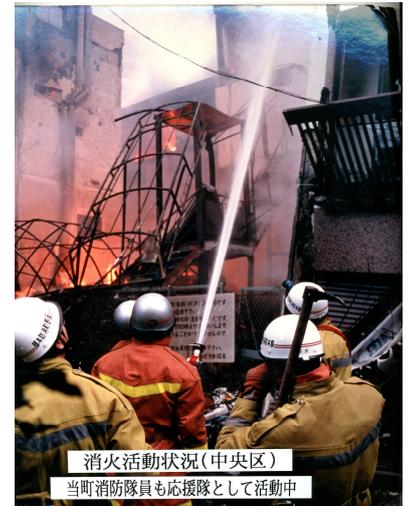
阪神淡路大震災応援出動

1月17日早朝に発生したこの地震は兵庫県を中心に大きな被害を与えました。

当町は翌18日から先着隊3名、後着隊3名の延べ6名を神戸市に派遣して人命救助、消火活動を行いました。



災害発生状況(長田区若松町付近)



消火活動状況(中央区)

当町消防隊員も応援隊として活動中

1996 平成8年  
高規格救急車の導入

これまでの救急車と比較し、車両性能、装備が大きく向上し、救急活動に大きく貢献しました。



1997 平成9年  
菰野町消防団  
特別表彰受賞

菰野町消防団はこれまでの災害活動、訓練実績が評価され、第49回日本消防協会定例表彰式において特別表彰「まとい」を受賞しました。



# 1998~2006

1998 平成10年  
救急救命士による  
救急業務開始  
救急救命士の資格を取得  
した職員が4月1日より  
救急車に乗車し、高度な  
救命処置が可能となりま  
した。



1999 平成11年  
全国消防救助  
技術指導会出場  
全国消防救助技術指導会  
ロープブリッジ渡過部門  
に出場しました。



2001 平成13年  
高規格救急車の更新  
高規格救急車を新たに更  
新し、救命処置のより一  
層の拡充を図りました。



通信指令室大幅更新  
発信地表示システム等の  
最新システムの導入によ  
り現場特定時間の短縮、  
また機械化されること  
で業務の効率化がなされ  
ました。



2004 平成16年  
菟野町での緊急消防  
援助隊合同訓練  
消防本部庁舎前において  
三重県下消防本部が集結  
し野営訓練を実施しまし  
た。



2005 平成17年  
建物火災  
住宅、倉庫等計6棟に渡  
る火災が発生し、消防車  
両12台、消防職団員1  
21名が出場し、消火活  
動に当たりました。



2006 平成18年  
住宅用火災警報器の設置  
義務化  
菟野町火災予防条例の一  
部改正が行われ、住宅用  
火災警報器の設置が義務  
化されました。



# 2007～2011

**2007 平成19年**  
**全国消防救助技術指導会出場**  
 全国消防救助技術指導会に出場し、ロープブリッジ渡過部門にて入賞しました。



**水槽付きポンプ車の更新**  
 車両に1.5tの水槽を積載し、火災現場に到着後すぐに放水ができる体制が整えられています。



**2008 平成20年**  
**救助工作車の更新**  
 オールシャッター式のボディでクレーン、大型照明はリモコン操作が可能となりました。従来の三つ打ちロープと併用する形でスタティックロープが積載されました。



**集中豪雨被害**  
 この豪雨で人的被害は幸いありませんでしたが、町内各所に土砂災害、道路損壊などの甚大な被害を及ぼしました。町内キャンプ場では土石流等で道路が寸断されて孤立状態となり消防職員が救出活動に当たりました。



**大雨、浸水や橋崩壊 岐阜・三重**

孤立した「湯の山ロッジ」から救出される宿泊客＝3日午前11時13分、三重県飯野町飯野、速修待生撮影

岐阜県と三重県にまたがる「湯の山ロッジ」は、大雨による土石流で孤立した。三重県飯野町飯野の速修待生が、孤立した宿泊客を救出した。救出された宿泊客は、三重県飯野町の速修待生に感謝の言葉を述べた。

三重県飯野町飯野の速修待生は、大雨による土石流で孤立した「湯の山ロッジ」から宿泊客を救出した。救出された宿泊客は、速修待生に感謝の言葉を述べた。

三重県飯野町飯野の速修待生は、大雨による土石流で孤立した「湯の山ロッジ」から宿泊客を救出した。救出された宿泊客は、速修待生に感謝の言葉を述べた。



2009 平成21年  
Eメール119緊急通報  
受信開始

耳や言葉の不自由な方が  
災害発生時に屋外や、外  
出先から携帯電話や、パ  
ソコンメールを使用して  
緊急通報することが可能  
となりました。



2010 平成22年  
高規格救急車の更新

ストレッチャー、自動心  
マッサージ器等の最新式  
の資器材が導入され、よ  
り高度な救命処置が可能  
となりました。



2011 平成23年  
東日本大震災  
緊急消防援助隊三重県隊  
として出動

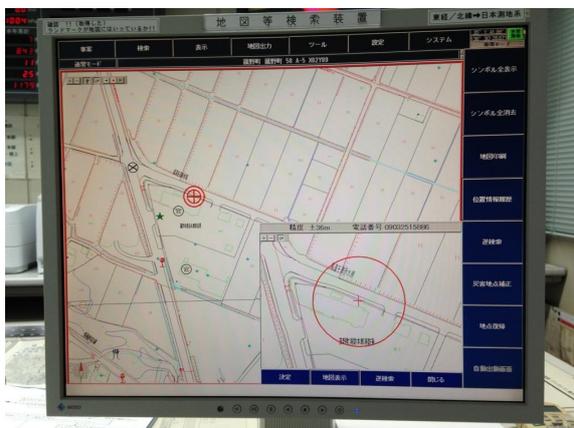
3月11日大規模な地震  
が発生し、津波により東  
北地方で大きな被害が発  
生しました。当町は、県  
内各消防本部と合同で千  
葉県及び宮城県へ救急隊  
を派遣し、人命救助活動  
に当たりました。



# 2012~2015

## 2012 平成24年 位置情報通知システム 導入

携帯電話からの119番通報時に現場特定がしやすくなり到着までの時間短縮が更に進められました。



## 2013 平成25年 建物火災

住宅、車両等を巻き込んだこの火災は火の回りが早く大きな延焼火災となりました。消防車12台、消防職団員82名が出動し、消火活動に当たりました。



## 2014 平成26年 はしご車の更新

梯子操作の一部が自動化され、安全性と迅速性が向上しました。



朝上分団全国大会で活躍  
朝上分団が、消防操法県  
大会において優勝し、全  
国大会でも見事敢闘賞を  
獲得しました。



### ポンプ車の更新

従来の水放水に加えて消  
火薬剤と空気を混合させ  
た泡放水も可能となり消  
火効率が向上しました。

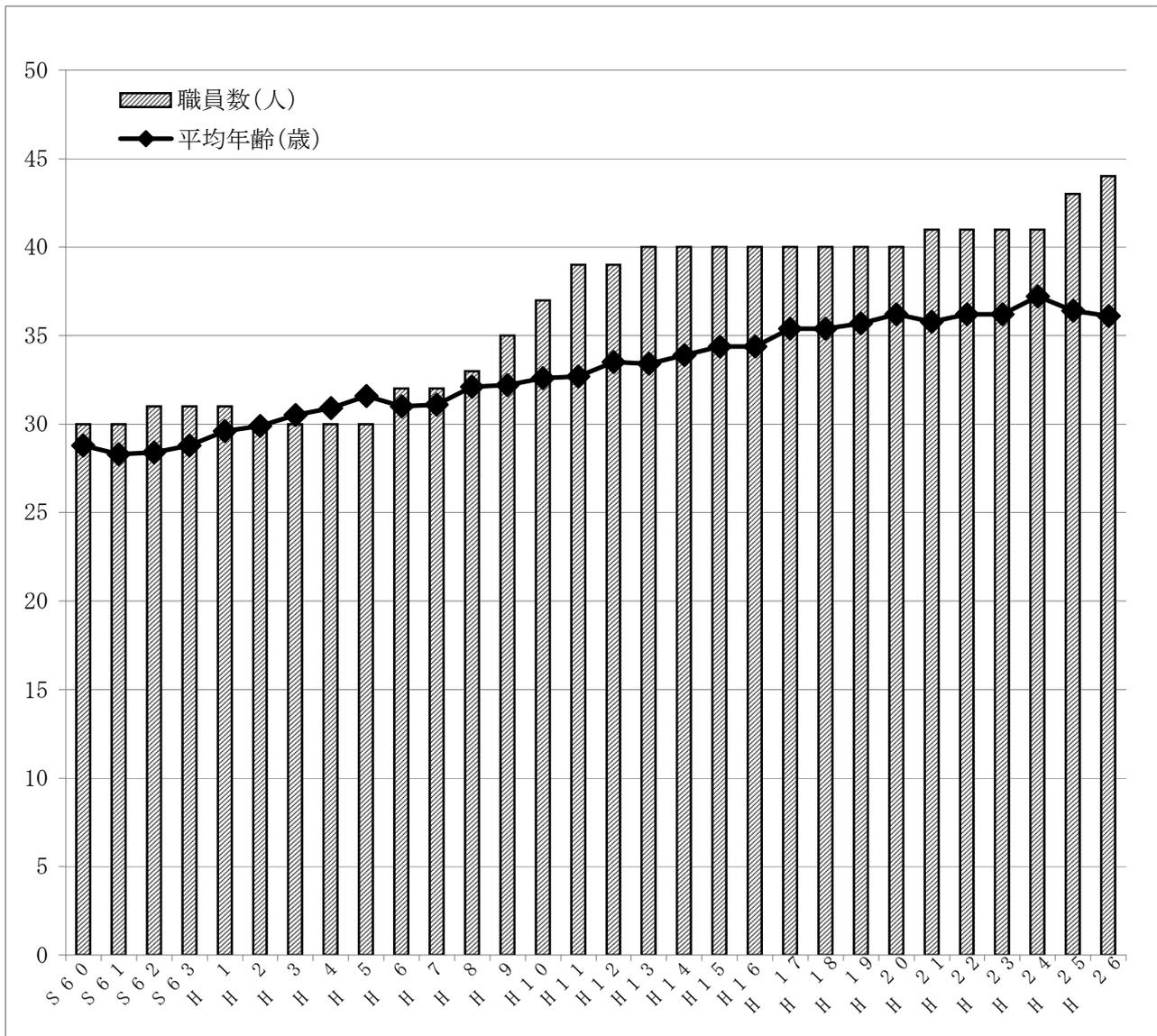


### 2015 平成27年 消防庁舎増築

消防職員の定員増に伴い  
仮庁舎として増築しまし  
た。事務、会議スペース  
を設けたことで、消防署  
の仮眠室、業務スペース  
の拡充により緊急事態に  
も万全の体制で業務に臨  
みます。



## 職員数及び平均年齢の推移

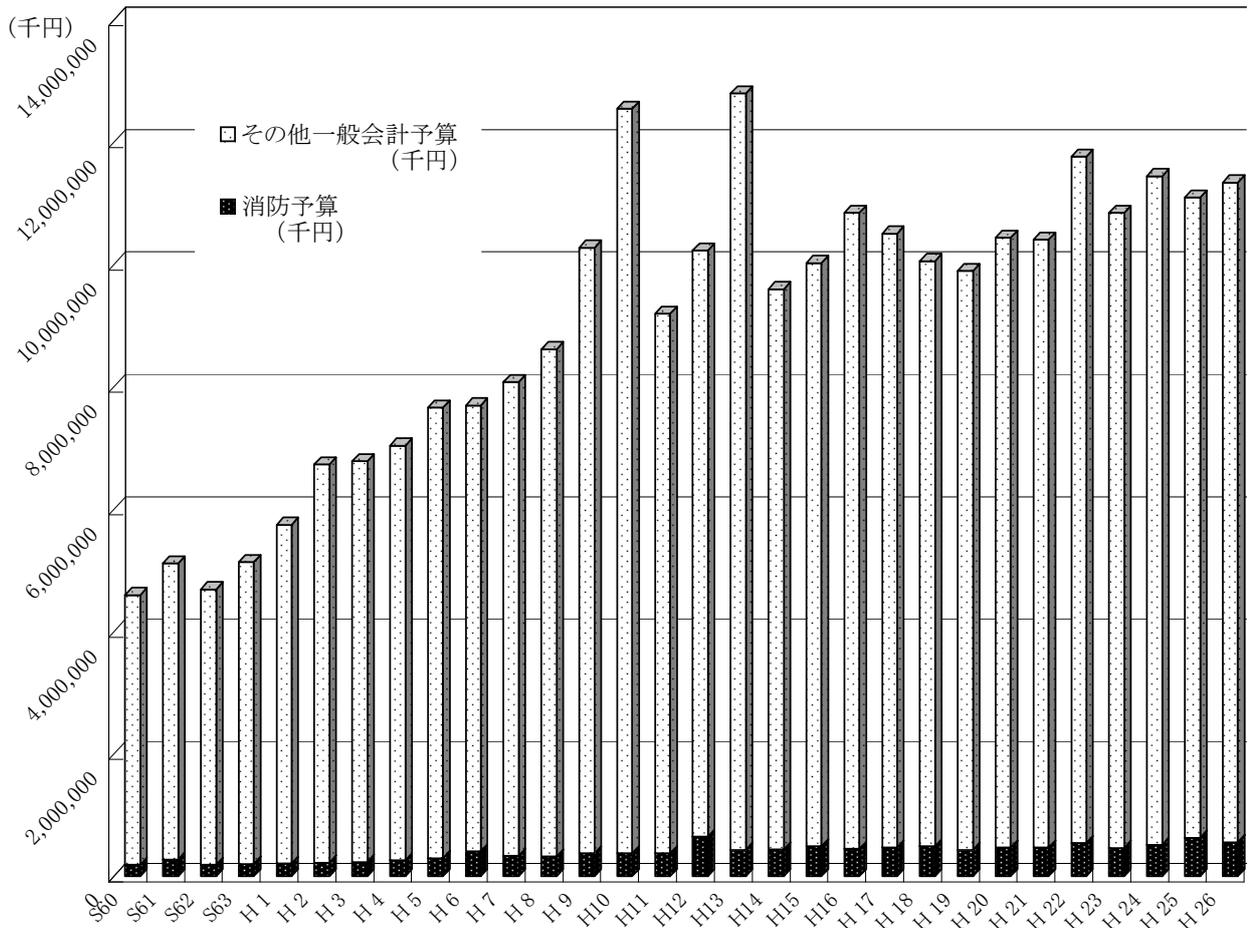


年度	S60	S61	S62	S63	H 1	H 2	H 3	H 4	H 5	H 6
職員数(人)	30	30	31	31	31	30	30	30	30	32
平均年齢(歳)	28.8	28.3	28.4	28.8	29.6	29.9	30.5	30.9	31.6	31

年度	H 7	H 8	H 9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16
職員数(人)	32	33	35	37	39	39	40	40	40	40
平均年齢(歳)	31.1	32.1	32.2	32.6	32.7	33.5	33.4	33.9	34.4	34.4

年度	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	H 23	H 24	H 25	H 26
職員数(人)	40	40	40	40	41	41	41	41	43	44
平均年齢(歳)	35.4	35.4	35.7	36.2	35.8	36.2	36.2	37.2	36.4	36.1

# 一般会計予算に占める消防費の割合の推移

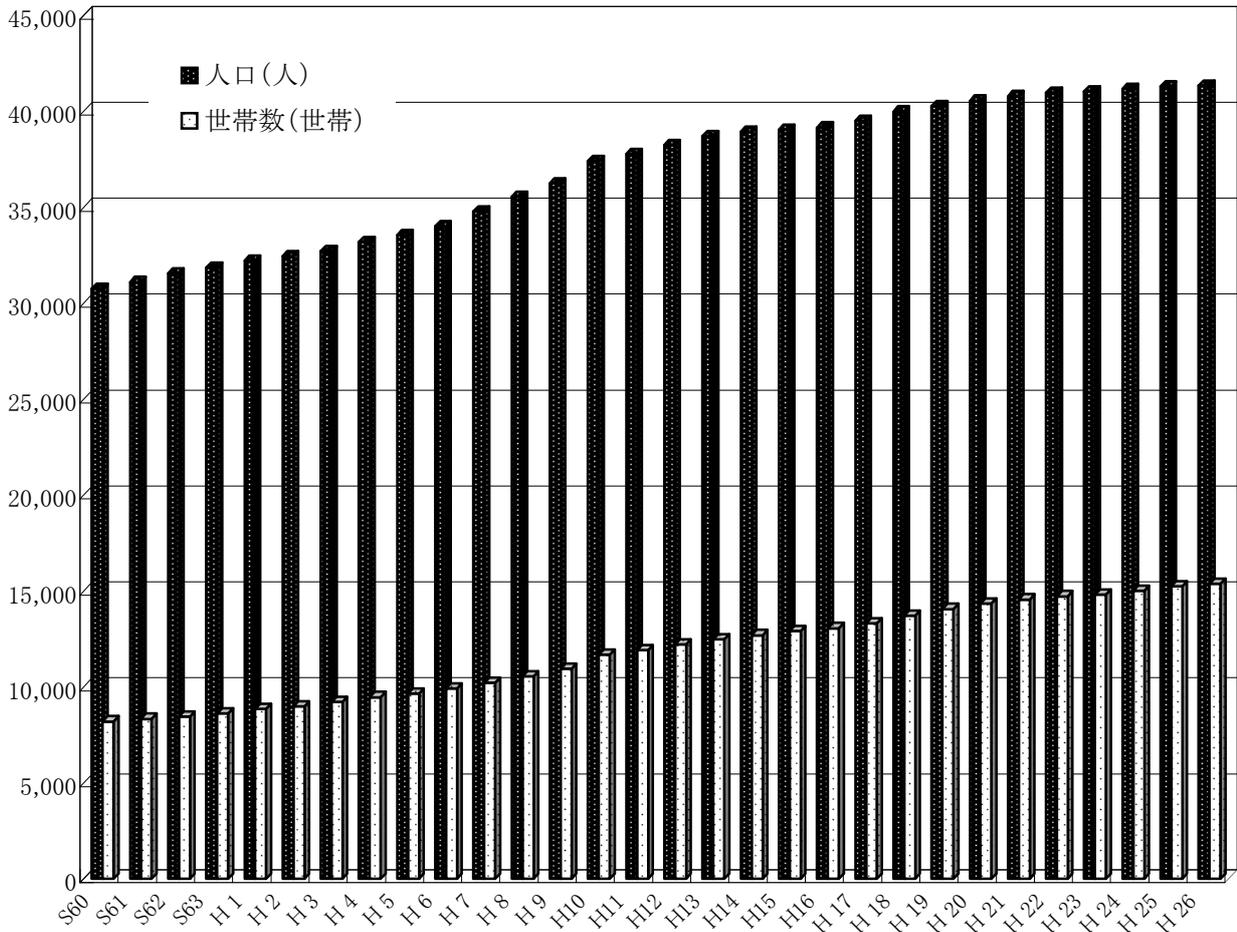


年度	S60	S61	S62	S63	H 1	H 2	H 3	H 4	H 5	H 6
一般会計 予算(千円)	4,600,000	5,115,000	4,693,000	5,136,000	5,746,000	6,731,000	6,789,000	7,041,000	7,665,000	7,700,000
消防予算 (千円)	188,804	273,378	187,630	202,019	208,310	225,027	233,430	258,841	295,969	408,634
消防予算の 比率(%)	4.10%	5.34%	4.00%	3.93%	3.63%	3.34%	3.44%	3.68%	3.86%	5.31%

年度	H 7	H 8	H 9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16
一般会計 予算(千円)	8,080,000	8,619,000	10,280,000	12,550,000	9,200,000	10,230,000	12,800,000	9,600,000	10,030,000	10,850,000
消防予算 (千円)	333,362	321,098	373,523	377,508	373,343	648,950	431,349	435,551	486,794	450,158
消防予算の 比率(%)	4.13%	3.73%	3.63%	3.01%	4.06%	6.34%	3.37%	4.54%	4.85%	4.15%

年度	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	H 23	H 24	H 25	H 26
一般会計 予算(千円)	10,510,000	10,060,000	9,900,000	10,440,000	10,412,000	11,770,000	10,850,000	11,450,000	11,100,000	11,344,000
消防予算 (千円)	468,789	489,395	432,196	465,906	470,975	543,077	465,252	513,698	630,884	557,267
消防予算の 比率(%)	4.46%	4.86%	4.37%	4.46%	4.52%	4.61%	4.29%	4.49%	5.68%	4.91%

# 管内人口の推移

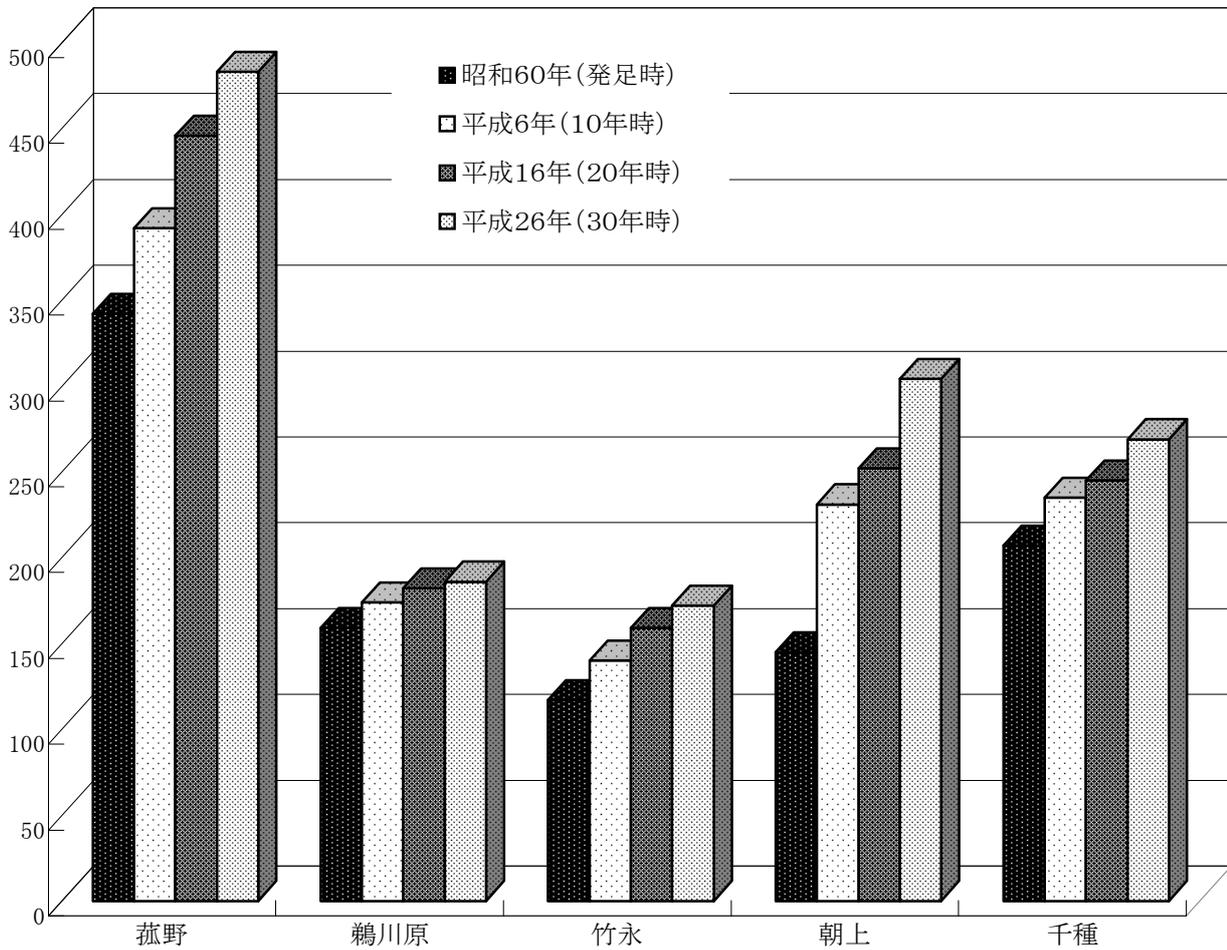


区分 \ 年	S60	S61	S62	S63	H 1	H 2	H 3	H 4	H 5	H 6
人口(人)	30,760	31,099	31,546	31,863	32,218	32,443	32,709	33,184	33,546	34,015
世帯数(世帯)	8,205	8,340	8,467	8,628	8,847	8,996	9,221	9,472	9,659	9,924
一人あたりの 消防費(円)	6,138	8,791	5,948	6,340	6,466	6,936	7,137	7,800	8,823	12,013

区分 \ 年	H 7	H 8	H 9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16
人口(人)	34,769	35,547	36,239	37,402	37,785	38,229	38,713	38,939	39,047	39,155
世帯数(世帯)	10,221	10,546	10,942	11,682	11,911	12,210	12,493	12,698	12,909	13,066
一人あたりの 消防費(円)	9,588	9,033	10,307	10,093	9,881	16,975	11,142	11,185	12,467	11,497

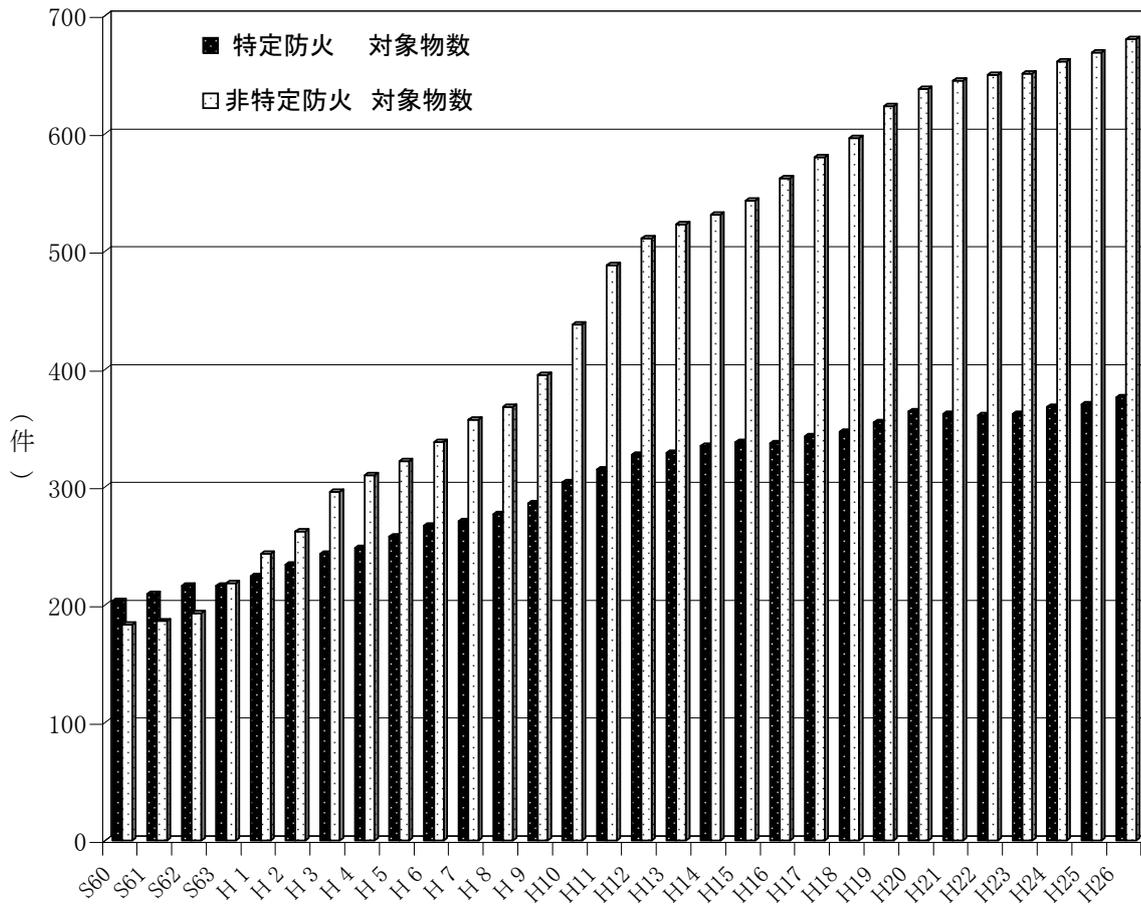
区分 \ 年	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	H 23	H 24	H 25	H 26
人口(人)	39,494	39,989	40,274	40,550	40,784	40,977	41,025	41,171	41,311	41,329
世帯数(世帯)	13,328	13,721	14,066	14,350	14,565	14,731	14,803	15,014	15,237	15,387
一人あたりの 消防費(円)	11,870	12,238	10,731	11,490	11,548	13,253	11,341	12,477	15,272	13,484

## 消火栓数の推移



年 \ 地区	菰野	鵜川原	竹永	朝上	千種	合計
昭和60年(発足時)	342	159	117	145	207	970
平成6年(10年時)	392	174	140	231	235	1,172
平成16年(20年時)	446	182	159	252	245	1,284
平成26年(30年時)	483	186	172	304	269	1,414

# 防火対象物数の推移

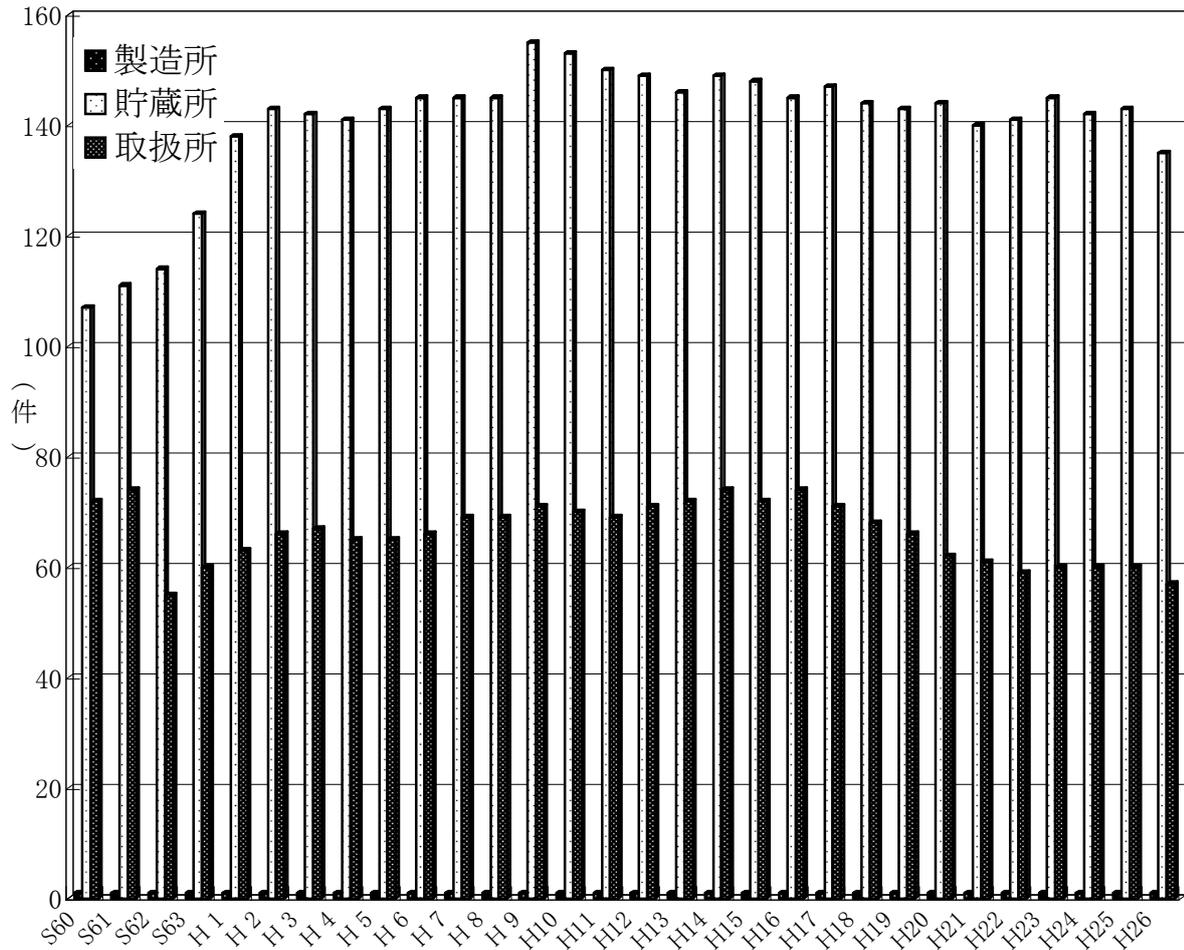


年度	S60	S61	S62	S63	H 1	H 2	H 3	H 4	H 5	H 6
特定防火 対象物数	203	209	216	216	224	234	243	248	258	267
非特定防火 対象物数	183	186	193	218	243	262	296	310	322	338
合 計	386	395	409	434	467	496	539	558	580	605

年度	H 7	H 8	H 9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16
特定防火 対象物数	271	277	286	304	315	327	329	335	338	337
非特定防火 対象物数	357	368	395	438	488	511	523	531	543	562
合 計	628	645	681	742	803	838	852	866	881	899

年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
特定防火 対象物数	343	347	355	364	362	361	362	368	370	376
非特定防火 対象物数	580	596	623	638	645	650	651	661	669	680
合 計	923	943	978	1002	1007	1011	1013	1029	1039	1056

# 危険物施設数の推移

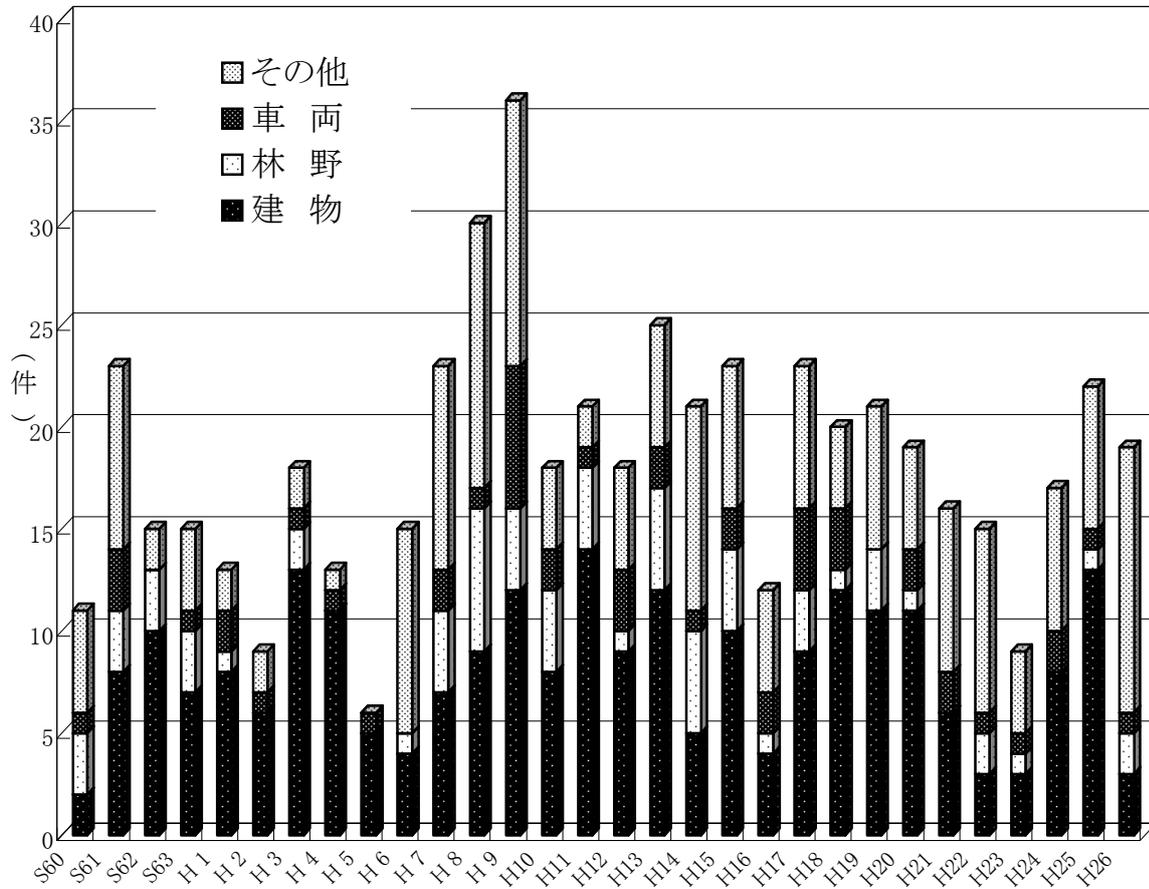


区分 \ 年度	S60	S61	S62	S63	H 1	H 2	H 3	H 4	H 5	H 6
製造所	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
貯蔵所	107	111	114	124	138	143	142	141	143	145
取扱所	72	74	55	60	63	66	67	65	65	66
合計	180	186	170	185	202	210	210	207	209	212

区分 \ 年度	H 7	H 8	H 9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16
製造所	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
貯蔵所	145	145	155	153	150	149	146	149	148	145
取扱所	69	69	71	70	69	71	72	74	72	74
合計	215	215	227	224	220	221	219	224	221	220

区分 \ 年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
製造所	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
貯蔵所	147	144	143	144	140	141	145	142	143	135
取扱所	71	68	66	62	61	59	60	60	60	57
合計	219	213	210	207	202	201	206	203	204	193

# 火災(種別)件数の推移

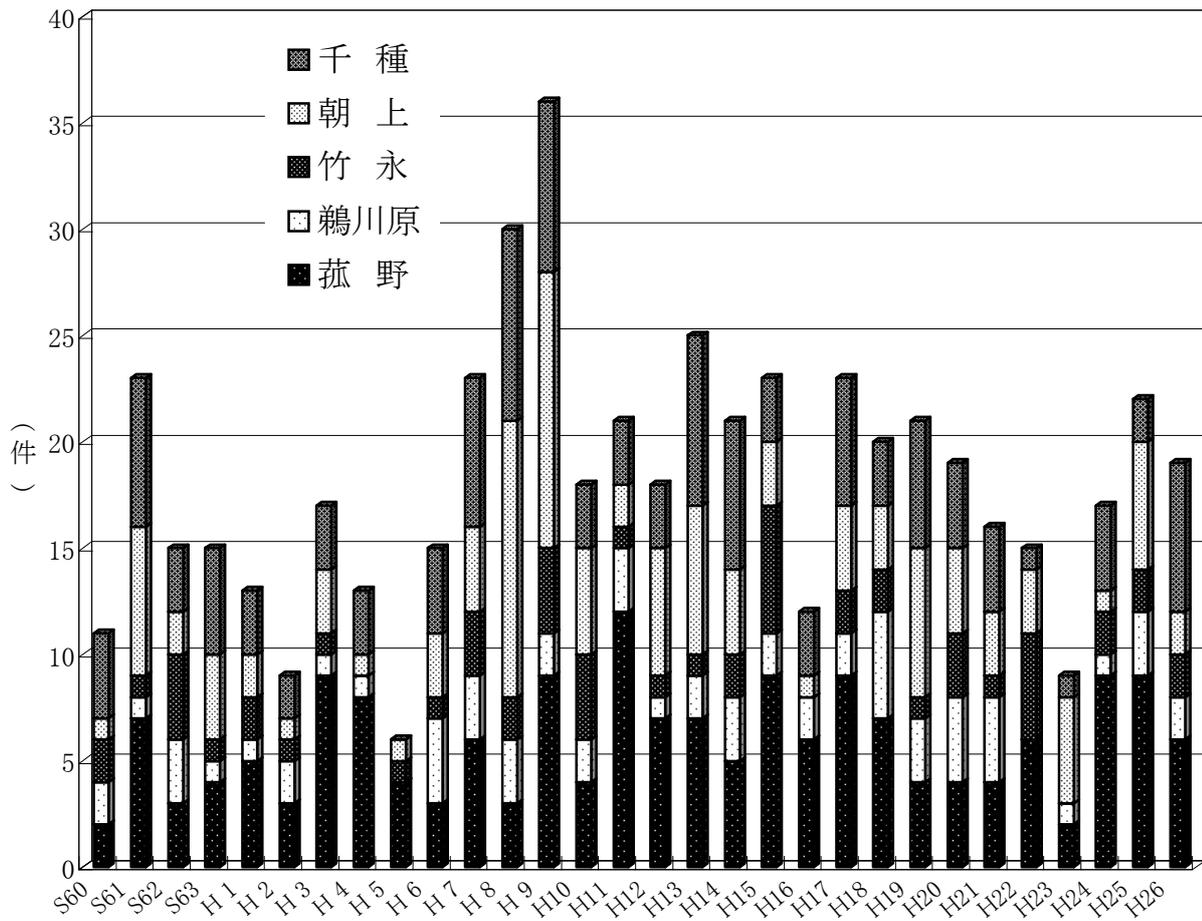


区分 \ 年	S60	S61	S62	S63	H 1	H 2	H 3	H 4	H 5	H 6
建 物	2	8	10	7	8	6	13	11	5	4
林 野	3	3	3	3	1	0	2	0	0	1
車 両	1	3	0	1	2	1	1	1	1	0
その他	5	9	2	4	2	2	2	1	0	10
合 計	11	23	15	15	13	9	17	13	6	15

区分 \ 年	H 7	H 8	H 9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16
建 物	7	9	12	8	14	9	12	5	10	4
林 野	4	7	4	4	4	1	5	5	4	1
車 両	2	1	7	2	1	3	2	1	2	2
その他	10	13	13	4	2	5	6	10	7	5
合 計	23	30	36	18	21	18	25	21	23	12

区分 \ 年	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
建 物	9	12	11	11	6	3	3	8	13	3
林 野	3	1	3	1	0	2	1	0	1	2
車 両	4	3	0	2	2	1	1	2	1	1
その他	7	4	7	5	8	9	4	7	7	13
合 計	23	20	21	19	16	15	9	17	22	19

# 火災(地区別)件数の推移

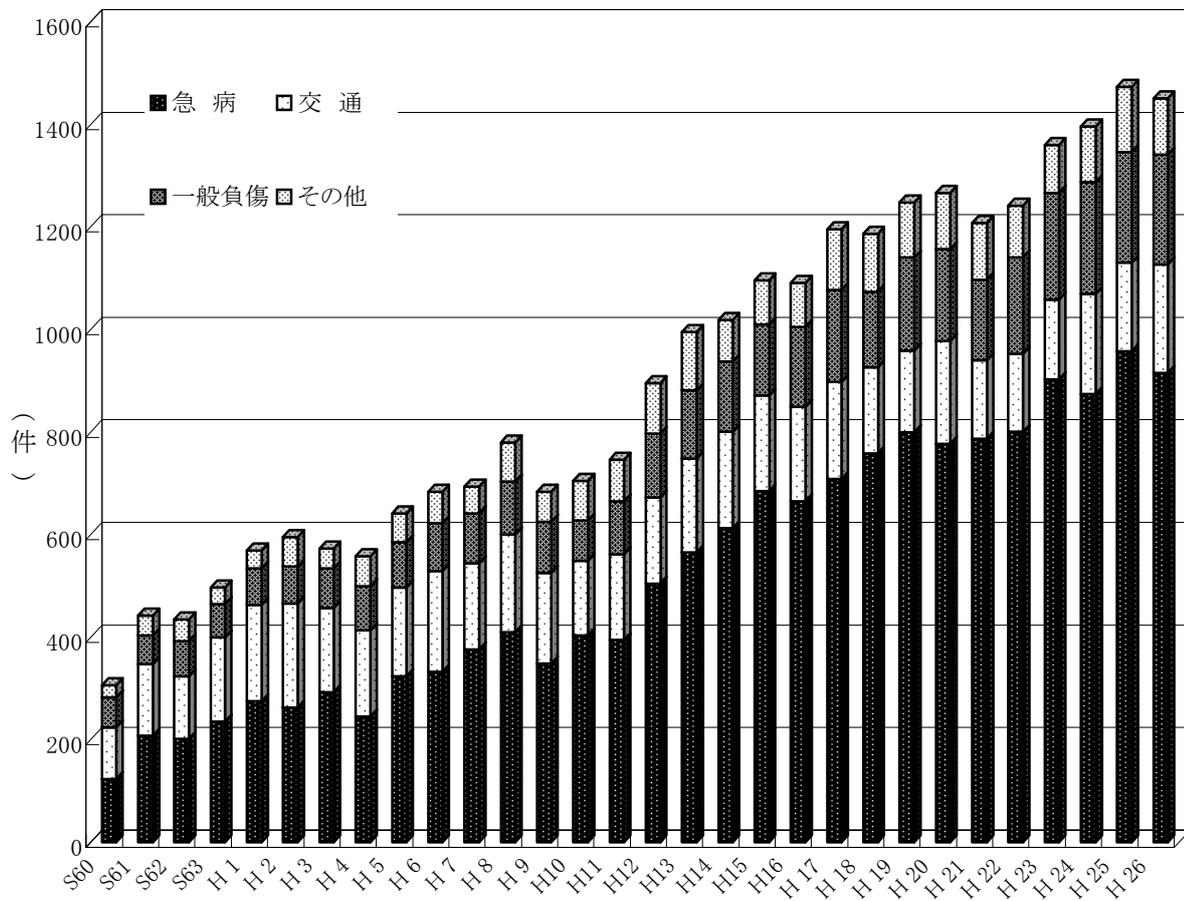


区分 \ 年	S60	S61	S62	S63	H 1	H 2	H 3	H 4	H 5	H 6
菰野	2	7	3	4	5	3	9	8	4	3
鶺川原	2	1	3	1	1	2	1	1	0	4
竹永	2	1	4	1	2	1	1	0	1	1
朝上	1	7	2	4	2	1	3	1	1	3
千種	4	7	3	5	3	2	3	3	0	4
合計	11	23	15	15	13	9	17	13	6	15

区分 \ 年	H 7	H 8	H 9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16
菰野	6	3	9	4	12	7	7	5	9	6
鶺川原	3	3	2	2	3	1	2	3	2	2
竹永	3	2	4	4	1	1	1	2	6	0
朝上	4	13	13	5	2	6	7	4	3	1
千種	7	9	8	3	3	3	8	7	3	3
合計	23	30	36	18	21	18	25	21	23	12

区分 \ 年	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
菰野	9	7	4	4	4	6	2	9	9	6
鶺川原	2	5	3	4	4	0	1	1	3	2
竹永	2	2	1	3	1	5	0	2	2	2
朝上	4	3	7	4	3	3	5	1	6	2
千種	6	3	6	4	4	1	1	4	2	7
合計	23	20	21	19	16	15	9	17	22	19

# 救急出場件数の推移

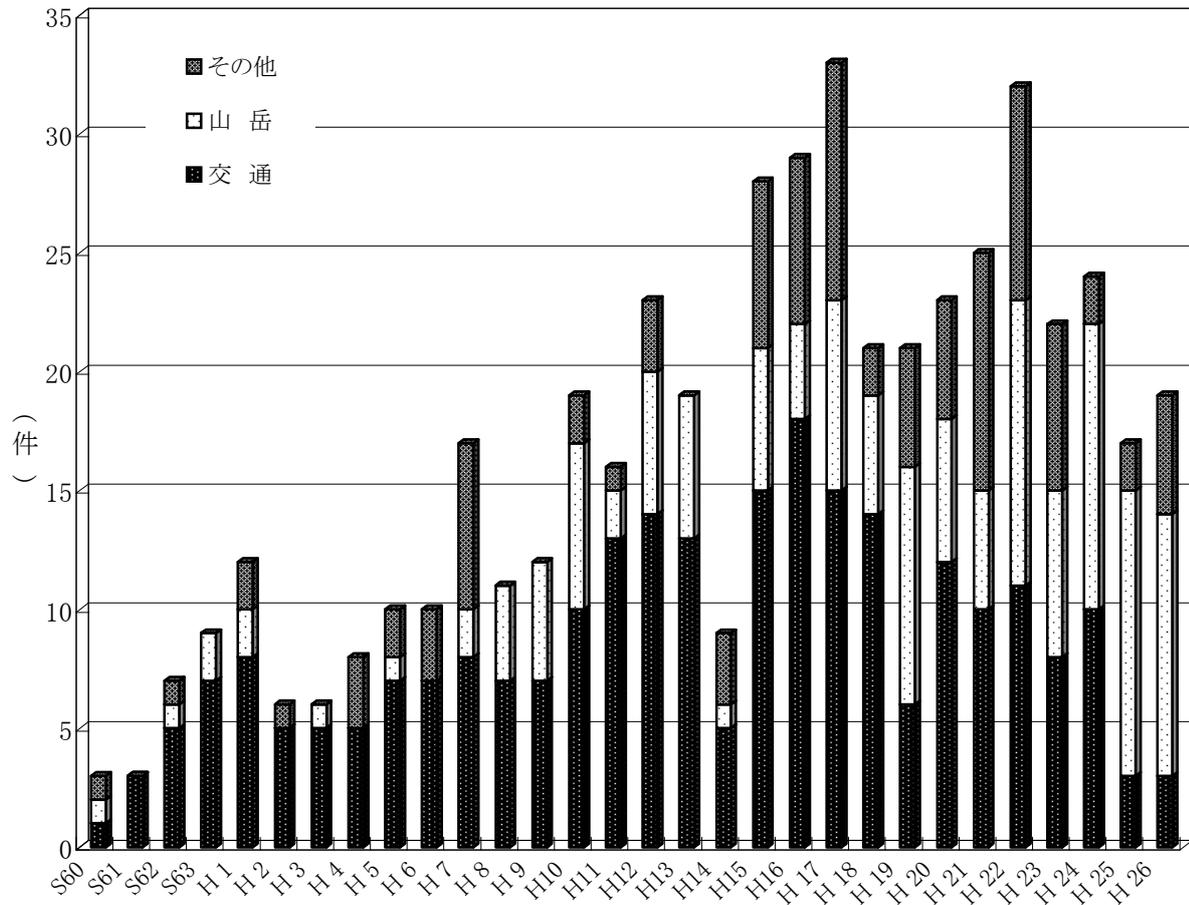


区分 \ 年	S60	S61	S62	S63	H 1	H 2	H 3	H 4	H 5	H 6
急病	123	208	201	235	275	263	292	245	324	332
交通	101	139	123	164	188	203	165	168	173	197
一般負傷	58	56	68	65	71	72	77	86	88	94
その他	24	39	42	33	35	57	39	59	56	61
合計	308	442	434	497	569	595	573	558	641	684

区分 \ 年	H 7	H 8	H 9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16
急病	376	410	348	403	394	504	565	612	685	665
交通	168	190	177	146	167	168	183	188	186	184
一般負傷	97	104	100	78	104	125	134	138	139	156
その他	53	75	59	78	81	98	113	80	86	86
合計	694	779	684	705	746	895	995	1018	1096	1091

区分 \ 年	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	H 23	H 24	H 25	H 26
急病	708	758	799	777	787	800	903	874	957	915
交通	190	169	160	201	153	153	156	195	173	212
一般負傷	179	146	181	179	157	188	208	218	216	214
その他	118	114	108	109	111	101	93	109	127	110
合計	1195	1187	1248	1266	1208	1242	1360	1396	1473	1451

# 救助出場件数の推移



区分 \ 年	S60	S61	S62	S63	H 1	H 2	H 3	H 4	H 5	H 6
交通	1	3	5	7	8	5	5	5	7	7
山岳	1	0	1	2	2	0	1	0	1	0
その他	1	0	1	0	2	1	0	3	2	3
合計	3	3	7	9	12	6	6	8	10	10

区分 \ 年	H 7	H 8	H 9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16
交通	8	7	7	10	13	14	13	5	15	18
山岳	2	4	5	7	2	6	6	1	6	4
その他	7	0	0	2	1	3	0	3	7	7
合計	17	11	12	19	16	23	19	9	28	29

区分 \ 年	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	H 23	H 24	H 25	H 26
交通	15	14	6	12	10	11	8	10	3	3
山岳	8	5	10	6	5	12	7	12	12	11
その他	10	2	5	5	10	9	7	2	2	5
合計	33	21	21	23	25	32	22	24	17	19

# 消防情勢



平成26年12月にポンプ車（CD- I型CAFS付）を購入しました。従来の水放水に加えて、消火薬剤と空気を混合させた泡放水が可能となっています。泡放水は、水放水に比べて約20分の1の水量で同等の消火能力を有しています。

菰野町消防出初式

平成27年1月11日

於：保健福祉センターけやき駐車場

## 菰野町の概要・位置図

菰野町は、三重県の北西部に位置し、西は鈴鹿山脈を境に滋賀県と接し、北はいなべ市に、東と南は四日市市に隣接している。

町の約3分の1を占める山岳地帯は、鈴鹿国定公園に指定されており、御在所岳、釈迦ヶ岳、鎌ヶ岳などは、多くのアルピニストに親しまれ、近年では登山ブームにより老若男女を問わず、人気を集めるスポットである。

さらに霊山幽谷に出で湯をもつ湯の山温泉や雄大な眺めとスリルに富んだ御在所ロープウェイ、景勝を織りなす溪谷の数々、緑豊かな丘陵地など、菰野町は鈴鹿国定公園の玄関口としてふさわしい。

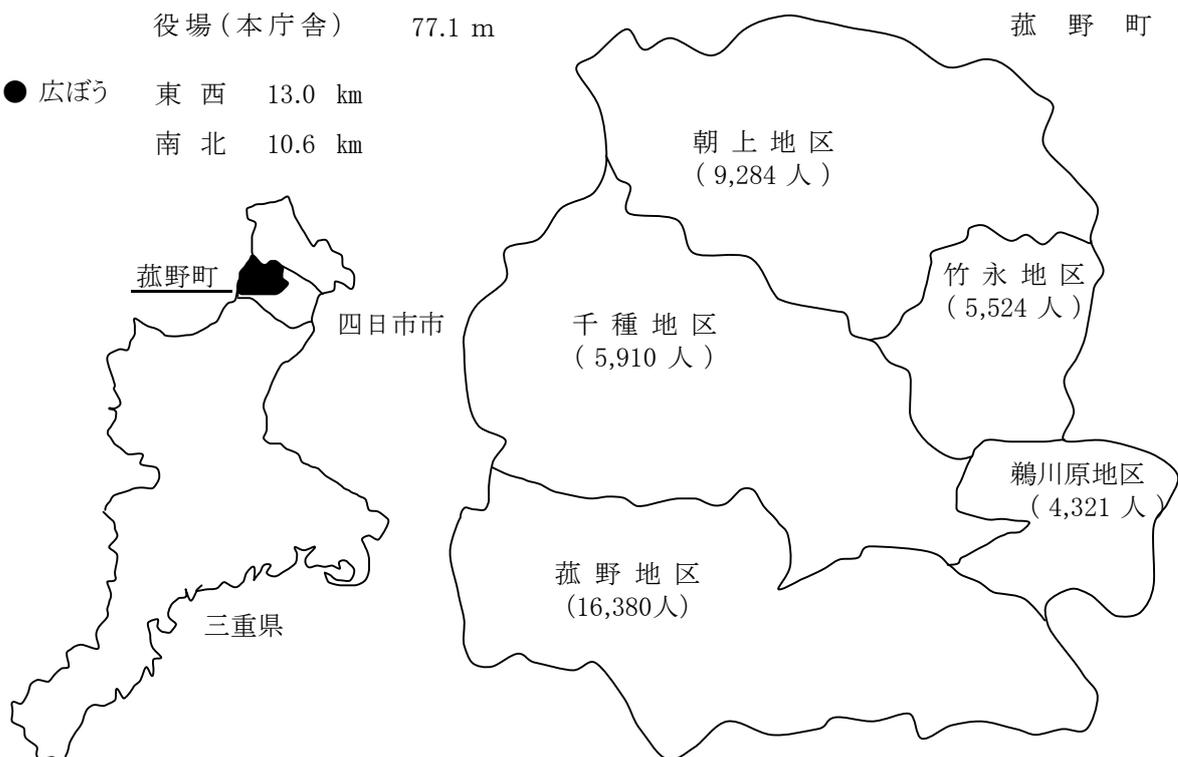
菰野町では、目指すべき将来像を「自然の中に人々が集う、笑顔と活力のまち 菰野」をスローガンに掲げ、町民の安全安心への思いや、絆を大切にしながら、自然との調和を基盤とした町づくりを推進している。

● 位置 / 北緯 35° 01' 43" (世界測地) ● 人口 / 41,419 人  
東経 136° 30' 25" (平成27.3.31現在)

● 面積 / 107.28 km<sup>2</sup> ● 世帯数 / 15,636 世帯  
(平成27.3.31現在)

● 海拔 / 御在所岳 1,212 m (最高地)  
役場(本庁舎) 77.1 m

● 広ぼう 東西 13.0 km  
南北 10.6 km

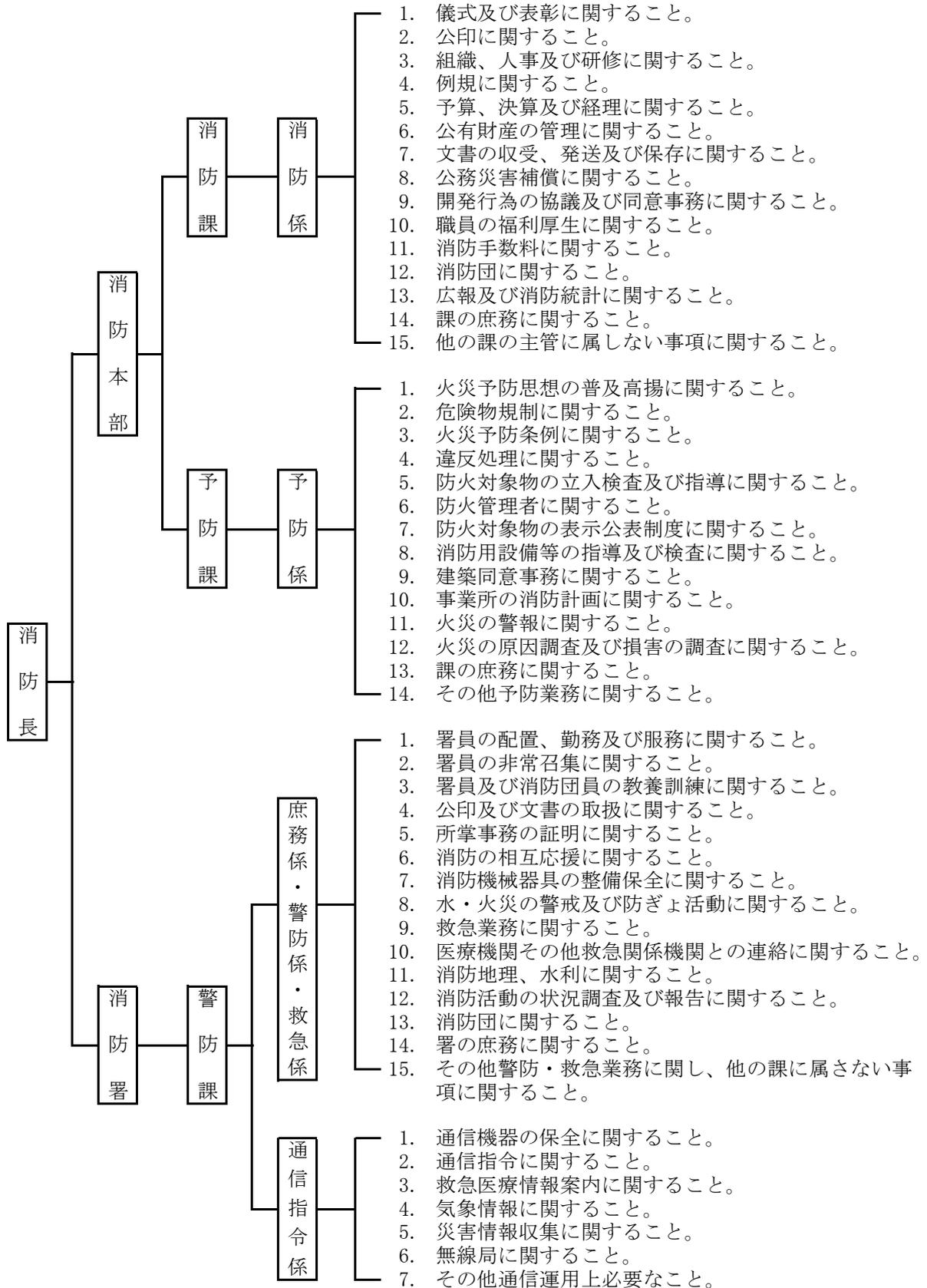


## 平成26年中の主な行事

- 1. 12 消防出初式〔保健福祉センター「けやき」北駐車場〕
- 1. 24 文化財防火デーに伴う特別消防訓練〔明福寺〕
- 2. 16 防火広報〔町内一円〕
- 2. 28 春の火災予防運動に伴う特別消防訓練〔グループホーム湯の山〕
- 3. 1～3. 7 春の火災予防運動
- 4. 6 消防団辞令交付式〔消防本部〕
- 5. 20 菰野町防火協会理事会総会
- 5. 25 菰野町水防訓練
- 5. 30 危険物安全週間に伴う特別消防訓練〔日泉化学〕
- 6. 1～6. 7 危険物安全週間
- 6. 22 菰野町消防団消防操法大会〔八風中学校〕
- 7. 13 三重県消防操法大会〔三重県消防学校〕
- 7. 30 消防救助技術東海地区指導会〔三重県消防学校〕
- 8. 30～9. 5 防災週間
- 8. 31 菰野町総合防災訓練〔町内一円〕
- 9. 2 防災週間に伴う特別消防訓練〔鹿の湯ホテル〕
- 9. 7～9. 13 救急医療週間
- 9. 21 消防自動車写生大会〔消防本部〕
- 10. 2 三重県消防職員警防技術交換会〔三重県消防学校〕
- 10. 31 集団救急救護訓練〔消防本部〕
- 11. 8 全国消防操法大会〔東京都〕
- 11. 9～11. 15 秋の火災予防運動
- 11. 16 秋の火災予防運動に伴う特別消防訓練〔菰野生産森林組合事務所周辺〕
- 12. 28～12. 31 年末特別警戒〔町内一円〕

# 消防本部・消防署の組織・機構及び事務分掌

平成27. 4. 1現在



## 消防予算

(千円)

年度	区分	常備消防費	非常備消防費	消防施設費	水防費	合計
平成23年度		386,984	34,789	43,233	246	465,252
平成24年度		398,128	35,207	80,118	245	513,698
平成25年度		401,645	39,242	189,765	232	630,884
平成26年度		420,660	41,595	94,947	65	557,267
平成27年度		444,465	42,957	259,525	65	747,012

## 一般会計予算に占める消防費の割合

年度	区分	一般会計予算 (千円)	消防予算 (千円)	比率(%)
平成23年度		10,850,000	465,252	4.3
平成24年度		11,450,000	513,698	4.5
平成25年度		11,100,000	630,884	5.7
平成26年度		11,344,000	557,267	4.9
平成27年度		12,210,000	747,012	6.1

## 消防費に対する人口・世帯当り額

年度	区分	人口(人)	世帯(戸)	消防費(千円)	人口1人当りの 消防費(千円)	1世帯当りの消防 費(千円)
平成23年度		41,025	14,803	465,252	11	31
平成24年度		41,171	15,014	513,698	12	34
平成25年度		41,311	15,237	630,884	15	41
平成26年度		41,329	15,387	557,267	13	36
平成27年度		41,419	15,636	747,012	18	48

## 消防力の整備指針と現有消防力の比較

(台)

車 両	消防力の整備指針による基準車両	基準数	現 有 車 両	現有数	比 較
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	2	水槽付消防ポンプ自動車 消 防 ポ ン プ 自 動 車	2	0
	はしご付き消防自動車	1	はしご付き消防自動車	1	0
	化 学 消 防 自 動 車	1		0	△ 1
	救 急 自 動 車	3	高規格救急自動車(1) 高規格救急自動車(2)	2	△ 1
	救 助 工 作 車	1	救 助 工 作 車	1	0
	指 揮 車	1	指 揮 車	1	0
	計	9	計	7	△ 2

(人)

人 員	消防力の整備指針による区分別算定		基準数	現有数	比 較	
	警 防 要 員	消防ポンプ自動車(1)	5人×3部制=15人	60	29	△ 31
		消防ポンプ自動車(2)	4人×3部制=12人			
		救 助 工 作 車	5人×3部制=15人			
		救 急 自 動 車 (1)	3人×3部制= 9人			
		指 揮 車	3人×3部制= 9人			
		救 急 自 動 車 (2)	( 兼 務 運 用 )			
		はしご付き消防自動車	( 乗 換 運 用 )			
		化学消防自動車【未配備】				
	通 信 員		5	7	2	
予 防 要 員		5	4	△ 1		
そ の 他 の 人 員		6	6	0		
合 計			76	46	△ 30	

平成27.4.1現在

## 職員階級別・所属別配置状況

平成27. 4. 1現在

所属		階級	消 防 司令長	消防司令	消 防 司令補	消防士長	消 防 副士長	消防士	合 計
本 部	消防課		1	1	1	1		2	6
	予防課			1	2	1			4
署	警防課			1	17	4	5	9	36
合 計			1	3	20	6	5	11	46

## 職員階級別勤続年数状況

平成27. 4. 1現在

勤続年数	階級	消 防 司令長	消防司令	消 防 司令補	消防士長	消 防 副士長	消防士	合 計
1年未満							2	2
1年							1	1
2年							3	3
3年								
4年							2	2
5年							1	1
6年						1	1	2
7年						1		1
8年							1	1
9年						1		1
10年								
11年					1	1		2
12年						1		1
13年					1			1
14年				1	2			3
15年								
16年				1	1			2
17年				2				2
18年				2	1			3
19年								
20年								
21年				5				5
22年				1				1
23年				1				1
24年								
25年								
26年								
27年				2				2
28年								
29年								
30年		1	3	5				9
合 計		1	3	20	6	5	11	46

# 職員階級別年齢状況

平成27. 4. 1現在

年 齢	消 防 司令長	消防司令	消 防 司令補	消防士長	消 防 副士長	消防士	合 計
18歳							
19歳							
20歳						2	2
21歳							
22歳							
23歳						2	2
24歳						1	1
25歳						1	1
26歳						3	3
27歳						1	1
28歳					2	1	3
29歳					2		2
30歳					1		1
31歳							
32歳				1			1
33歳				2			2
34歳				1			1
35歳							
36歳				1			1
37歳				1			1
38歳			1				1
39歳			3				3
40歳			2				2
41歳			1				1
42歳			2				2
43歳			2				2
44歳							
45歳			1				1
46歳			1				1
47歳							
48歳							
49歳							
50歳			6				6
51歳							
52歳							
53歳							
54歳		2	1				3
55歳							
56歳							
57歳	1	1					2
58歳							
59歳							
合 計	1	3	20	6	5	11	46

平均年齢 37.61 歳

# 外部研修等派遣状況

平成26年度

派遣先	区分	科 目	期 間	人 員
消防大学校		救助科 (第23期)	26. 4. 14～26. 6. 4	1
三重県消防学校		救助科 救助課程 (第24期)	26. 10. 1～26. 10. 31	1
		特別科 気管挿管追加講習 (ビデオ喉頭鏡)	26. 7. 15～26. 7. 16	2
		危険物科 危険物課程 (第14期)	26. 12. 4～26. 12. 10	1
		特別科 指揮課程 (第2期)	26. 12. 8～26. 12. 12	2
		特別科 はしご自動車講習 (第21期)	26. 12. 15～26. 12. 18	1
		特別科 指導救命士養成研修 (第2期)	26. 12. 18～26. 12. 19	2
		警防科 警防課程 (第26期)	27. 2. 23～27. 3. 6	1
救 急		I C L S (心肺蘇生二次救命処置研修)	26. 5. 24	1
		日本臨床救急医学会	26. 5. 31～26. 6. 1	1
		12誘導心電図セミナー	26. 7. 4	1
		J P T E Cプロバイダー更新コース	26. 7. 12	1
		J P T E Cプロバイダーコース外傷病院前救護研修	26. 7. 12, 27. 3. 11	3
		M C L S (多数傷病者対応研修)	26. 8. 9, 27. 1. 25	2
		P A L S (小児、乳児心肺蘇生二次救命処置)	26. 9. 6～26. 9. 7	1
		I S L S (神経救急蘇生研修)	26. 9. 27	1
		救急コ・メディカルセミナー	26. 10. 16	5
		三重県臨床工学セミナー (初級心電図)	26. 10. 26	1
		日本救急医学会 中部地方会	26. 11. 29	1
		B L Sヘルスケア (心肺蘇生一次救命処置研修)	26. 12. 7	1
		I C L S (指導者養成ワークショップ)	26. 12. 23	1
		P S L S (脳卒中病院前救護講習)	27. 1. 9, 27. 2. 12	2
		全国救急隊員シンポジウム	27. 1. 29～27. 1. 30	1
		日本集団災害セミナー	27. 2. 25	1
		I T L S (交通外傷救出研修)	27. 3. 8	1
		B L S O (妊産婦救急対応研修)	27. 3. 22	1
	救 助		アリゾナボートテックスフレーム講習	26. 5. 13～26. 5. 14
		アドバンスドロープレスキュー I	26. 11. 28	2
		全国消防救助シンポジウム	26. 12. 19	1
予 防		観光予防セミナー	26. 6. 30	1
		違反是正研修会	26. 8. 25	2
		火災調査研究発表会	26. 10. 15	1
		製品安全業務報告会	26. 11. 6	1
		東海支部違反是正事例発表会	26. 11. 20	2
		高圧ガス講習会	26. 11. 26	1
		東海地区消防機関事故原因究明技術研修会	26. 12. 4	1
		消防設備等保守点検業務研修会	26. 12. 4	1
		消防法令違反是正事例研究会	27. 1. 30	1
	企業防災対策指導研修会	27. 2. 20	1	
そ の 他		酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習	26. 12. 3～26. 12. 5	1
		緊急自動車ドライバー安全運転研修	26. 12. 2～26. 12. 3	1

## 各種訓練実施状況

平成26年度

内容	区分	延 時 間	延 人 数	回 数
訓 育		1	26	1
実 務 法 規		1	13	1
地 理 及 び 水 利		53	68	24
火 災 予 防		158	339	88
物 象		17	2	2
勤 務 要 綱		313	470	110
消 防 行 動		19	118	22
消 防 戦 術		107	325	57
消 防 機 械		372	986	247
消 防 操 法		162	354	71
実 施 訓 練		863	2,088	429
訓 練 礼 式		7	100	5
救 急 学		1,133	796	273
体 育		119	1,683	263

## 消防本部(署)庁舎の概要

平成27.4.1現在

所 在 地	三重県三重郡菰野町大字潤田4418番地 (敷地面積：6226.17㎡)				
区 分	庁 舎	仮設庁舎	訓 練 棟		
	消防署	消防本部	主 塔	副 塔	倉 庫 棟
建 設 年	昭和60年竣工	平成26年竣工	平成7年竣工	平成7年竣工	平成7年竣工
構 造	RC2階建	鉄骨2階建	RC4階建	鉄骨3階建	鉄骨2階建
建築面積	537.7㎡	114.4㎡	39.4㎡	38.6㎡	87.6㎡
延床面積	858.4㎡	226.8㎡	129.6㎡	94.3㎡	175.2㎡
1 F	528.1㎡	113.4㎡	32.4㎡	32.7㎡	87.6㎡
2 F	309.3㎡	113.4㎡	32.4㎡	32.7㎡	87.6㎡
3 F	(P.H) 21.0㎡		32.4㎡	28.9㎡	
4 F			32.4㎡		

# 通信施設状況

平成27. 4. 1現在

種 類	数 量	備 考
消 防 用 無 線 基 地 局	1局	こものしょうぼう(市町村波・県波・全国共通波)
車 載 移 動 無 線 局	10局	こもの1～10(市町村波・県波・全国共通波)
携 帯 移 動 無 線 局	10局	こもの101～105・こもの501～505 (市町村波・県波・全国共通波)
消 防 団 車 載 移 動 無 線 局	10局	団波・市町村波
消 防 団 携 帯 移 動 無 線 局	4局	こもの601～604 (市町村波・県波・全国共通波・団波)
三重県消防救急デジタル無線基地局	1局	菰野中継所：みえきょうつうこもの 【通信所】こものしょうぼう(主運用波・統制波)
三重県消防救急デジタル無線移動局 (半固定無線機)	3局	こもの201【可搬型】・こもの202【卓上型】 こもの203【卓上型】※こもの203：役場災害対策室設置 (活動波・主運用波・統制波)
菰野町防災行政無線局	1局	指令台連動機能付
三重県防災行政無線局	3局	衛星局・地上局・可搬型衛星地球局
携帯型デジタル簡易無線機	15台	
救急車積載携帯電話	6台	
携 帯 電 話	2台	本部1・署1
報 知 電 話 ( 1 1 9 )	2回線4ch	固定電話・携帯電話
救急医療情報システム災害時優先電話	1台	携帯電話
救急医療情報システム端末	1回線	
F A X	1回線2ch	一般用・福祉用
一 般 加 入 電 話	2回線4ch	
順 次 指 令 装 置	1回線	指令台連動
A S Kメール発信システム	1式	「菰野町行政情報メール」と連動
消 防 テ レ フ ォ ン ガ イ ド	5回線	指令台連動
Eメール119受信装置	2台	

## 現有消防車両

平成27. 4. 1現在

車種	区分	車名	規格等	登録番号	登録年月日	排気量(cc)	車両重量(kg)
はしご車		日野	30m級	三重800は1877	H26. 3. 19	8,860	18,790
救助工作車		日野	II型	三重800は1347	H20. 3. 13	7,680	11,140
水槽付ポンプ車		日野	水-IA型	三重800は1184	H19. 1. 29	6,400	7,560
ポンプ車		日野	CD-I型 (CAFS付)	三重800せ 6	H26. 12. 4	4,000	5,880
救急1号車		ニッサン	高規格	三重800す7167	H22. 12. 2	3,490	2,850
救急2号車		ニッサン	高規格	三重800す2244	H18. 2. 20	3,490	2,900
救急予備車		ニッサン	高規格	三重830た 119	H13. 3. 7	3,270	2,890
指揮車		トヨタ	ワゴン	三重800す5463	H20. 12. 11	1,980	1,660
広報車		トヨタ	ワゴン	三重800す8616	H24. 12. 27	2,690	2,120
積載車		いすゞ	2t積	三重800せ 127	H27. 1. 29	2,990	2,740

## 消防水利状況

平成27. 4. 1現在

水利		地区	菰野	鶉川原	竹永	朝上	千種	合計
消火栓	管径 50 mm 以下		8	1	1	1	2	13
	管径 75 mm		197	80	102	124	112	615
	管径 100 mm		137	43	33	106	85	404
	管径 150 mm 以上		141	62	36	79	71	389
	合計		483	186	172	310	270	1,421
防火水槽	容量 20 m <sup>3</sup> 未満		2			5	3	10
	容量 20 m <sup>3</sup> 以上 40 m <sup>3</sup> 未満		22	4	7	11	4	48
	容量 40 m <sup>3</sup> 以上		4	2	3	9	8	26
	耐震性貯水槽 40 m <sup>3</sup>		7	1	1	2	2	13
	耐震性貯水槽 100 m <sup>3</sup>		1	1	1	1	1	5
	プール		4	1	1	2	2	10
	合計		40	9	13	30	20	112
自然水利	河川		48	13	10	82	52	205
	池		9	3	3	23	9	47
	合計		57	16	13	105	61	252

## 応急手当普及啓発活動実施状況

菟野町消防本部では平成7年度から応急手当の普及啓発活動実施要綱に基づく普及活動を実施しており、止血法や固定法などを学ぶ救急講習、心肺蘇生法とAEDの取り扱い方法を学ぶ普通救命講習、各区や事業所などで普通救命講習を開催できる指導者を養成する応急手当普及員講習などを開催しています。

	救急講習		普通救命講習		応急手当普及員講習	
	回数	受講者数	回数	修了者数	回数	修了者数
平成7年度	10	351	5	93		
平成8年度	16	330	7	78		
平成9年度	18	384	10	130		
平成10年度	12	310	8	90		
平成11年度	14	942	8	142		
平成12年度	14	382	11	206		
平成13年度	9	257	13	151		
平成14年度	9	396	24	408		
平成15年度	14	592	13	197		
平成16年度	17	828	16	263		
平成17年度	9	1,094	33	480	1	12
平成18年度	15	734	59	840	5	60
平成19年度	16	461	60	989	3	57
平成20年度	4	226	71	1,013	4	72
平成21年度	11	262	44	592	3	45
平成22年度	7	302	35	512	2	38
平成23年度	9	319	45	699		
平成24年度	11	468	39	628	2	26
平成25年度	6	276	37	571	1	29
平成26年度	17	459	45	564	3	28
合計	238	9,373	583	8,646	24	367

# 自主防災組織

平成27. 4. 1現在

(1) 婦 人 消 防 隊	{	菰野地区婦人消防隊 ( 昭和43年4月21日結成 367 人)
		鵜川原地区婦人消防隊 ( 昭和40年3月20日結成 76 人)
		竹永地区婦人消防隊 ( 昭和58年6月 1日結成 66 人)
		朝上地区婦人消防隊 ( 昭和42年4月 1日結成 165 人)
		千種地区婦人消防隊 ( 昭和57年4月21日結成 132 人)
<hr/>		合計 5 隊 総員 806 人

## (2) 自 警 団

合計 32 団 総員 701 人

菰 野 地 区	{	神 明 区 ( 16 人 )
		菰 野 第 一 区 ( 38 人 )
		菰 野 第 三 区 ( 135 人 )
		宿 野 区 ( 18 人 )
		福 村 区 ( 35 人 )
		神 森 区 ( 14 人 )
<hr/>		計 6 団 総員 256 人

鵜 川 原 地 区	{	大 強 原 区 ( 14 人 )
		下 村 区 ( 15 人 )
		川 北 区 ( 15 人 )
		池 底 区 ( 12 人 )
		吉 沢 区 ( 10 人 )
		諏 訪 区 ( 9 人 )
<hr/>		計 6 団 総員 75 人

竹 永 地 区	{	竹 成 区 ( 11 人 )
		永 井 区 ( 33 人 )
<hr/>		計 2 団 総員 44 人

朝 上 地 区	{	榊 区 ( 13 人 )
		松 涛 園 区 ( 12 人 )
		小 島 区 ( 21 人 )
		田 口 新 田 区 ( 15 人 )
		美 山 区 ( 26 人 )
		田 口 区 ( 10 人 )
		日 丘 区 ( 14 人 )
		切 畑 区 ( 4 人 )
		一 本 木 団 地 ( 13 人 )
		青 葉 台 区 ( 9 人 )
<hr/>		計 10 団 総員 137 人

千 種 地 区	{	千 草 区 ( 23 人 )
		音 羽 区 ( 12 人 )
		潤 田 区 ( 34 人 )
		三 滝 園 区 ( 40 人 )
		岡 区 ( 15 人 )
		福 松 区 ( 17 人 )
		奥 郷 区 ( 10 人 )
		江 野 区 ( 38 人 )
<hr/>		計 8 団 総員 189 人

# 緊急避難所

平成27. 4. 1現在

地区名	名称	所在地	電話番号	収容人員
神明	グリーンホテル	大字千草7054-173	392-3111	120
	神明区公会所	大字菰野8475-22		98
大羽根園	大羽根園自治会公会所	大羽根園並木通4	394-1884	187
菰野第一区	茶屋の上公会所	大字菰野9743		48
	菰野第一区第一公会所	大字菰野9007	393-2116	88
菰野第二区	菰野第二区公民館	大字菰野2203-1	394-0940	241
菰野第三区	南部公民館	大字福村148		636
	第三区民栄会館	大字菰野1419-8		76
	川原町集会所	大字菰野1778		56
宿野	宿野公会所	大字宿野230-1	394-0913	196
福村	福村公会所	大字福村272	394-2744	170
神森	神森集落センター	大字神森705	394-1984	100
大強原	大強原公会所	大字大強原3482-1	394-6237	141
下村	下村公会所	大字下村2166-3		146
川北	川北公会所	大字川北563	393-2074	244
池底	池底集落センター	大字池底1152		123
吉沢	吉沢集落センター	大字吉沢1792-2		132
諏訪	諏訪公会所	大字諏訪3822		190
竹成	竹成区公会堂	大字竹成2116	396-1880	253
永井	永井集落センター	大字永井3832	396-1707	104
田光	田光公会堂	大字田光2066	396-0127	272
杉谷	杉谷公会所	大字杉谷2580	396-2319	198
榑	榑公会所	大字榑303		48
松涛園	松涛園公会所	大字小島417-185		108
小島	小島集落センター	大字小島1687-1	396-4118	100
田口新田	田口新田公会所	大字田口新田2256		127
美山	美山区公会所	大字田口新田232-32		40
田口	田口公会所	大字田口2493		169
日丘	日丘区公会所	大字田口新田117-66		48
切畑	切畑公会所	大字切畑578-8		36
根の平	根の平公会所	大字根の平114-1		32
一本木団地	一本木公会所	大字榑895-44		74

地区名	名称	所在地	電話番号	収容人員
青葉台	青葉台公会所	大字杉谷1572-187		118
千草	千草公会所	大字千草2763	394-6280	152
	千草区区民センター	大字千草2510		80
音羽	音羽公会所	大字音羽585-1		94
潤田	潤田集落研修センター	大字潤田499		239
三滝園	三滝園公会所	大字潤田650-177		78
	岡公民館	大字千草4127-10		170
福松	福松構造改善センター	大字千草5364-16	394-5194	126
奥郷	奥郷構造改善センター	大字千草6368-2	394-3773	129
江野	江野区公会所	大字千草7045-897	392-2105	112

緊急避難所…有効スペース1㎡×1人

## 収容避難所

地区名	名称	所在地	電話番号	収容人員
菰野地区	菰野町B & G海洋センター	大字菰野4775-1	394-3177	381
	菰野小学校	大字菰野1490	393-2006	288
	菰野中学校	大字菰野1192	393-2112	357
	菰野高等学校	大字福村870	393-1131	382
鵜川原地区	鵜川原小学校	大字大強原913	393-2118	183
竹永地区	竹永小学校	大字竹成2598-2	396-0009	198
朝上地区	朝上小学校	大字田光66	396-0004	294
	八風中学校	大字田光3808-18	396-0012	338
千種地区	千種小学校	大字千草3861	394-2590	333

収容避難所…体育館等3㎡×1人

## 収容避難所を補完する施設

地区名	名称	所在地	電話番号	収容人員
菰野地区	菰野保育園	大字菰野2098	393-2135	27
	菰野西保育園	大字菰野8870	394-0884	54
	菰野幼稚園・菰野東保育園	大字菰野1485	393-1179	69
鵜川原地区	鵜川原幼稚園・鵜川原保育園	大字大強原829-1	393-2405	36
竹永地区	竹永幼稚園・竹永保育園	大字永井59	396-0527	51
朝上地区	朝上保育園	大字田光3306-2	396-0114	44
	朝上幼稚園	大字田光4293	396-4774	41
千種地区	千種幼稚園・千種保育園	大字音羽2240	393-2406	51

◎補完施設とは、収容避難所の収容能力を超える被災者を受け入れる場合に利用する隣接の保育園・幼稚園で、収容人数は、ホール3㎡×1人。

# 消防団



菰野町消防出初式において、通常点検を行いました。部隊行動を確実軽快にし、厳正な規律を身につけ、消防諸般の基礎を作ることを目的としています。

菰野町消防出初式

平成27年1月11日

於：保健福祉センターけやき駐車場

## 消防団

消防団は郷土愛の精神に基づき、地域に密着した防災活動機関として地震・風水害・火災等の災害時には町民の生命財産の保護等消防防災活動に当たるとともに、平常時には、火災予防広報・防災指導等に従事し、地域防災上重要な役割をはたしています。

平成26年中における主な活動は、火災出動20回、延べ出動人員549人。その他、出初式・各種訓練・警戒・警備等に出動し活躍しています。

## 菰野町消防団の沿革

明治27年	消防制度が統一され、当時の菰野村、鶴川原村、竹永村、朝上村、千種村の5村に消防組が組織される。
昭和 3年	町制施行により菰野村が菰野町となる。
昭和14年	警察消防体制の確立により5町村の消防組が警防団に改められる。
昭和23年	消防組織法の施行により5町村の警防団が消防団として組織される。
昭和30年 4月	町村合併促進法の制定により朝上村と千種村が合併し、朝明村となり朝明村消防団が組織される。
昭和31年 9月	菰野町と鶴川原村、竹永村が合併し菰野町となり、菰野町消防団、朝明村消防団の2団となる。
昭和32年 1月	菰野町と朝明村が合併し菰野町となり、同時に菰野町消防団（団員数 159名）に統一、菰野分団、鶴川原分団、竹永分団、朝上分団、千種分団の5分団で組織される。
昭和41年 7月	湯の山地区自警団が湯の山分団となり、全6分団となる。
昭和43年 1月	菰野町役場に本部班が設置される。
昭和58年 4月	本部班が本部分団となり、全7分団となる。
昭和58年 7月	三重県消防操法大会に本部分団が出場し、優勝する。
昭和59年 7月	三重県消防操法大会に朝上分団が出場し、優勝する。
平成 2年10月	全国消防操法大会に朝上分団が出場し、優良賞を獲得する。
平成 6年10月	全国消防操法大会に菰野分団が出場し、敢闘賞を獲得する。
平成 9年 2月	第49回日本消防協会定例表彰式において特別表彰「まとい」を受章する。
平成 9年 8月	三重県消防操法大会に鶴川原分団が出場し、敢闘賞を獲得する。
平成18年 7月	三重県消防操法大会に竹永分団が出場し、準優勝する。
平成26年11月	全国消防操法大会に朝上分団が出場し、敢闘賞を獲得する。

## 歴代消防団長(合併以降)

初代	服部 幸太郎	自	昭和32年 1月15日	至	昭和52年 4月 1日
二代	伊藤 正一	自	昭和52年 6月15日	至	昭和55年12月31日
三代	谷 善一	自	昭和56年 1月 1日	至	昭和58年12月31日
四代	辻 収	自	昭和59年 1月 1日	至	平成 7年 2月28日
五代	白木 一	自	平成 7年 3月 1日	至	平成17年 3月31日
六代	小林 幸治	自	平成17年 4月 1日		現職

# 消防団の機構・団員数

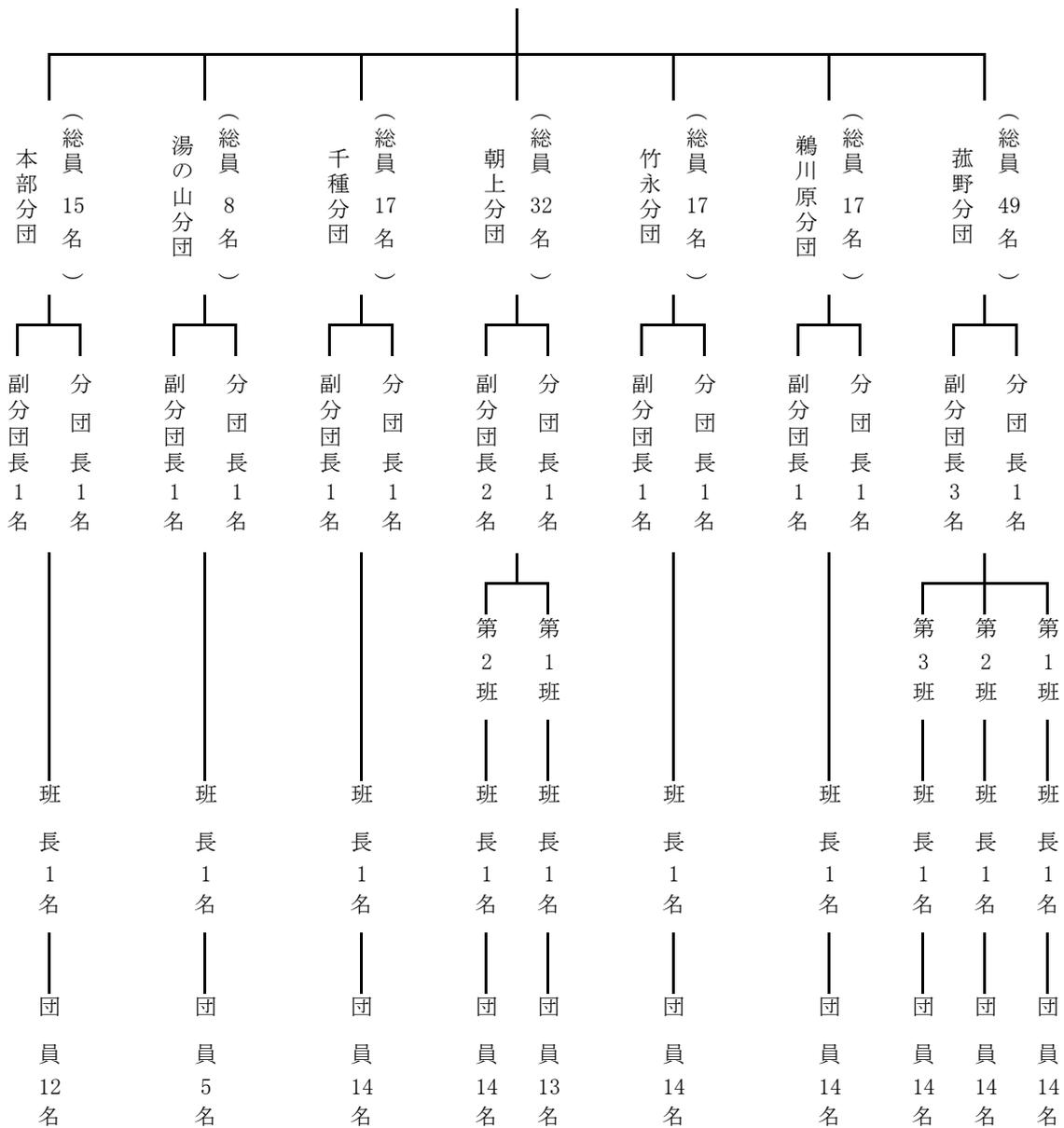
平成27. 4. 1現在

菰野町消防団 分団数 7分団（10班）  
 団員定数 168名  
 現有団員数 158名

## 菰野町消防団

（総員 158名）

消防団本部 団長 1名  
 副団長 2名



## 年齢別及び階級別消防団員数

平成27. 4. 1現在

年齢 \ 階級	団 長	副団長	分団長	副分団長	班 長	団 員	合 計
18 歳 ～ 20 歳						3	3
21 歳 ～ 25 歳						24	24
26 歳 ～ 30 歳				1	1	50	52
31 歳 ～ 35 歳			1	1	5	28	35
36 歳 ～ 40 歳			1	3	4	21	29
41 歳 ～ 45 歳			1	5		1	7
46 歳 ～ 50 歳			1				1
51 歳 ～ 55 歳			3			1	4
56 歳 ～ 60 歳		1					1
61 歳 ～ 65 歳		1					
65 歳 以 上	1						
合 計	1	2	7	10	10	128	158

平均年齢 32.1 歳

## 在職年数別消防団員数

平成27. 4. 1現在

在職年数	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上	合 計
団 員 数	50	61	31	7	2	5	2	158

## 消防団員報酬

平成27. 4. 1現在

階 級	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	班 長	団 員
年 間 報 酬 額 (円)	186,000	128,000	105,000	87,000	76,000	70,000

## 消防団員各種手当

平成27. 4. 1現在

項 目	水 火 災	訓 練	警 戒	ポンプ点検	車両検査	賄 手 当
1 回 当 り の 手 当 (円)	5,000	2,000	1,000	700	700	700

※水火災については活動時間が4時間未満の場合は2分の1の額とする。

## 消防団員職業別構成表

平成27. 4. 1現在

職 業	自営業	会社員	公務員	その他 (役員等)	合計
人 数	12	97	33	16	158

## 消防団消防車両配置状況

平成27. 4. 1現在

区分 分団名	車 名	規格等	登 録 番 号	登録年月日	排気量 (cc)	車両重量 (kg)
菰野分団第1班	いすゞ	CD-I	三重800す 715	H17. 2. 9	4,770	4,130
菰野分団第2班	いすゞ	CD-I	三重800す7276	H23. 2. 14	2,990	4,400
菰野分団第3班	いすゞ	CD-I	三重800さ9007	H15. 12. 15	4,770	3,990
鶴川原分団	いすゞ	CD-I	三重800す5567	H21. 2. 3	2,990	4,290
竹 永 分 団	いすゞ	CD-I	三重800さ4047	H13. 2. 7	4,570	4,140
朝上分団第1班	いすゞ	CD-I	三重800す4668	H20. 2. 6	2,990	4,110
朝上分団第2班	いすゞ	CD-I	三重800さ7399	H14. 12. 16	4,770	4,360
千 種 分 団	いすゞ	CD-I	三重800さ5820	H13. 12. 18	4,570	4,080
湯 の 山 分 団	いすゞ	CD-I	三重800さ4046	H13. 2. 7	4,570	4,140
〃	トヨタ	付積	三重 88ほ7972	H 7. 8. 30	1,990	1,850
本 部 分 団	トヨタ	BD-I	三重 88ほ3703	H 4. 1. 27	3,950	3,060
団 本 部	日産	付積	三重800せ 280	H27. 3. 26	2,480	2,890
〃	日産	ワゴン	三重502ふ2380	H26. 11. 27	1,590	1,350

※付積＝小型動力ポンプ付積載車

# 予防



町内スーパー店舗での火災予防広報や消防車両で町内全域を走行しながら防火を呼びかけました。

春の火災予防運動に伴う防火広報

平成27年2月22日

於：ピアゴ菰野店 駐車場

## 予 防

消防の仕事として、住民の方がまずイメージされるのが、火災時の消火活動のような消防隊の活動、あるいは救急隊の活動です。しかし、火災等の災害を未然に防止することもまた、消防の重要な仕事のひとつです。一般家庭に対しては、行事・講習会等を通じ防火意識の普及高揚を図るとともに、事業所に対しては危険物の取扱い、消防用設備等の設置・維持・管理等について指導を行っています。

## 防火対象物現況

用 途		平成27. 4. 1現在			平成26. 4. 1現在		
		4階未満	4階以上	合 計	4階未満	4階以上	合 計
1	イ 劇場・映画館・演芸場・観覧場						
	ロ 公会堂・集会場	37		37	36		36
2	イ キャバレー・ナイトクラブ						
	ロ 遊技場・ダンスホール	6		6	6		6
	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗等						
	ニ カラオケボックス等						
3	イ 待合・料理店						
	ロ 飲食店	46		46	44		44
4	百貨店・マーケット・店舗	70		70	68		68
5	イ 旅館・ホテル・宿泊所	107	12	119	108	12	120
	ロ 寄宿舎・下宿・共同住宅	196	14	210	193	14	207
6	イ 病院・診療所・助産所	24	3	27	24	3	27
	ロ 老人短期入所施設等	11	3	14	10	3	13
	ハ 老人デイサービスセンター等	23		23	22		22
	ニ 幼稚園・特別支援学校	2		2	2		2
7	小・中・高・大学・各種学校	29	2	31	29	2	31
8	図書館・博物館・美術館	5		5	5		5
9	イ 蒸気浴場・熱気浴場	1		1	1		1
	ロ イ以外の公衆浴場	1		1	1		1
10	車両の停車場	4		4	4		4
11	神社・寺院・教会	44		44	44		44
12	イ 工場・作業場	166	3	169	163	3	166
	ロ 映画スタジオ・テレビスタジオ						
13	イ 自動車車庫・駐車場	13		13	12		12
	ロ 飛行機又は回転翼航空機の格納庫						
14	倉庫	82		82	82		82
15	前各号に該当しない事業場	106	5	111	103	5	108
16	イ 特定複合用途防火対象物	29	2	31	29	2	31
	ロ イ以外の複合用途防火対象物	9	1	10	8	1	9
合 計		1,011	45	1,056	994	45	1,039

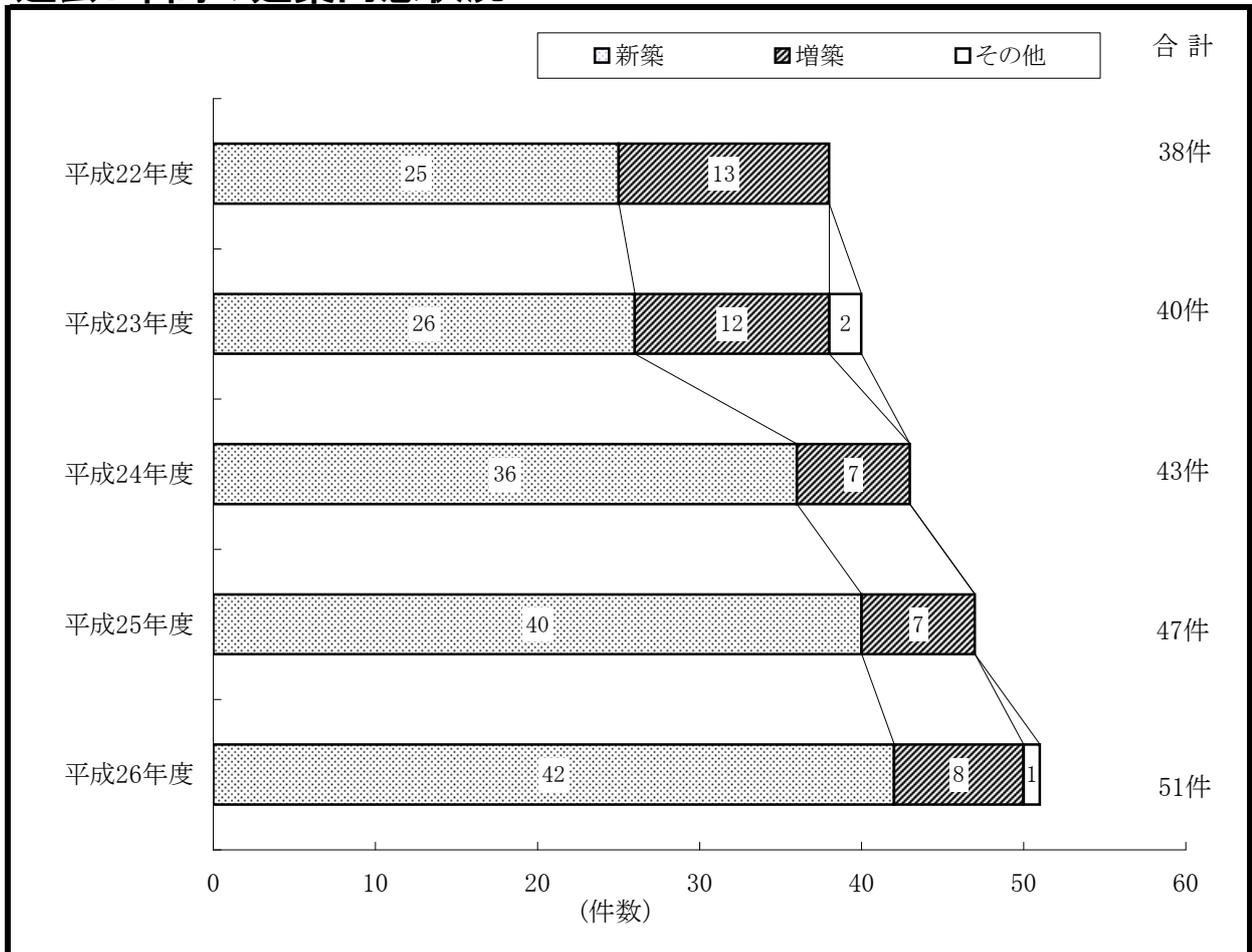
# 用途別建築同意状況

用途		月 別												26年度 合 計	25年度 合 計		
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
1	イ	劇場・映画館・演芸場・観覧場															
	ロ	公会堂・集会場							1	1							2
2	イ	キャバレー・ナイトクラブ															
	ロ	遊技場・ダンスホール															1
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等															
	ニ	カラオケボックス等															
3	イ	待合・料理店															
	ロ	飲食店				1			1								2
4		百貨店・マーケット・店舗										1					1
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所															1
	ロ	寄宿舍・下宿・共同住宅			1	1			2				1				5
6	イ	病院・診療所・助産所								1							1
	ロ	老人短期入所等							1								1
	ハ	老人デイサービス等			1								1				2
	ニ	幼稚園・特別支援学校															1
7		小・中・高・大学・各種学校															2
8		図書館・博物館・美術館															
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場															
	ロ	イ以外の公衆浴場															
10		車両の停車場															
11		神社・寺院・教会							1								1
12	イ	工場・作業場	1	1		1	1				1		1				6
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ															
13	イ	自動車車庫・駐車場				1	1							1			3
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫															
14		倉庫							2								2
15		前各号に該当しない事業場		1		2	1			2	1		1	1			9
16	イ	特定複合用途防火対象物															1
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物				1					1						2
その他		住 宅		1	1	2							1	3			8
		そ の 他	2	1						1		1			1		6
合 計			3	4	3	9	3	8	5	3	2	5	5	1			51

## 工事別建築同意状況

区分	工事種別					平成26年度 合 計	平成25年度 合 計
	新 築	増 築	改 築	用途変更	そ の 他		
同 意	42	8		1		51	47
不 同 意							
合 計	42	8		1		51	47

## 過去5年間の建築同意状況



## 危険物施設現況

区分		製造所等の別	製造所	貯 蔵 所							取 扱 所					26年度合計	25年度合計		
				小計	屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	小計	給油		第一種販売			第二種販売	一般
													営業用	自家用					
倍 数 別	検査済施設数	1	135	28	27	7	43	1	25	4	57	16	15		1	25	193	204	
	5倍以下		62	10	4	7	29	1	9	2	13		3			10	75	79	
	5倍超10倍以下		24	3	9		11			1	7					7	31	32	
	10倍超50倍以下	1	22	2	8		3		8	1	22	4	12		1	5	45	43	
	50倍超100倍以下		7		3				4		5	2				3	12	14	
	100倍超150倍以下		11	4	3				4		2	2					13	13	
	150倍超200倍以下		2	2							2	2					4	5	
	200倍超1,000倍以下		3	3							6	6					9	9	
	1,000倍超		4	4													4	4	
類 別	第1類		1	1													1	1	
	第2類																		
	第3類																		
	第4類	1	131	24	27	7	43	1	25	4	57	16	15		1	25	189	200	
	第5類		1	1													1	1	
	第6類																		
	混在		2	2													2	2	

## 危険物施設許可認可状況

区分		許 可				完 成 検 査				仮使用承認		廃 止 届		
		設 置		変 更		設 置		変 更						
		製造所等の別		26年度	25年度	26年度	25年度	26年度	25年度	26年度	25年度	26年度	25年度	26年度
製 造 所														
貯 蔵 所	屋 内				1				1					
	屋外タンク		1					1						
	屋内タンク											1		
	地下タンク				2							3	1	
	簡易タンク													
	移動タンク											4	1	
	屋 外													
取 扱 所	給 油		1	1	5			1	1	5	1	1	1	2
	第一種販売													
	第二種販売													
	一 般	1	1	3	4	1	1	3	4	3		1		
合 計		1	3	4	12	1	3	4	12	4	1	10	4	

## 各種届出処理状況

平成26年度

区 分	件 数	区 分	件 数
防火管理者選解任届	55	蓄電池設備設置届	5
消防計画書	66	ネオン管灯設備設置届	
消防用設備等点検結果報告書	270	水素ガスを充てんする気球設置届	
液化石油ガス等貯蔵取扱届	6	少量危険物貯蔵取扱届	19
防火対象物使用開始届	35	指定可燃物貯蔵取扱届	2
消防訓練実施届	144	毒物・劇物貯蔵取扱届	
炉設置届		火災とまぎらわしい煙等届	89
ボイラー設備等設置届	5	煙火（打上げ・仕掛け）届	12
発電設備設置届	1	消防用設備等着工届	42
変電設備設置届	8	消防用設備等設置届	45
防火対象物点検結果報告書	32	露店等の開設届	38

## 消防用設備等設置検査実施状況

区 分	件 数	
	26 年 度	25 年 度
検査済証	29	25

## 広報・啓発活動状況

平成26年度

区 分		回 数 等	延べ対象者数等
消 防 広 場（菰野町文化祭）		1回	約1,000人
庁 舎 見 学		7回	346人
訓 練 指 導		55回	3,794人
一 人 暮 ら し 高 齢 者 防 火 訪 問		32件	32人
巡 回 広 報		11回	町内全域
防 火 だ よ り の 発 刊		2回	26,200部
写 生 大 会 ・ 防 火 習 字		各1回	795人
広報印刷物等	ポ ス タ ー		1,490枚
	チ ラ シ		2,200枚
	広 報 こ も の	12回	162,000部
	お 知 ら せ 版	24回	321,600部
そ の 他	の ぼ り	166日間	218本
	懸 垂 幕	21日間	3枚
	横 断 幕	97日間	25枚
	防 災 ラ ジ オ 放 送	45回	13,200台

【平成27年度全国統一防火標語】

「無防備な 心に火災が かくれんぼ」

【平成27年度危険物安全週間推進標語】

「無事故へと 気持ち集中 はっけよい」

# 火災



貴重な環境資源である山林を火災から守ることを目的として、秋の火災予防運動に伴う特別消防訓練を実施しました。

秋の火災予防運動に伴う特別消防訓練

平成26年11月16日

於：菰野生産森林組合事務所周辺

# 火 災

平成26年中は、19件の火災が発生し、これら全火災での損害額は12,472千円でした。

火災件数は、前年に比べて3件減少しました。その他火災の件数が13件で半数以上を占めているのが特徴です。

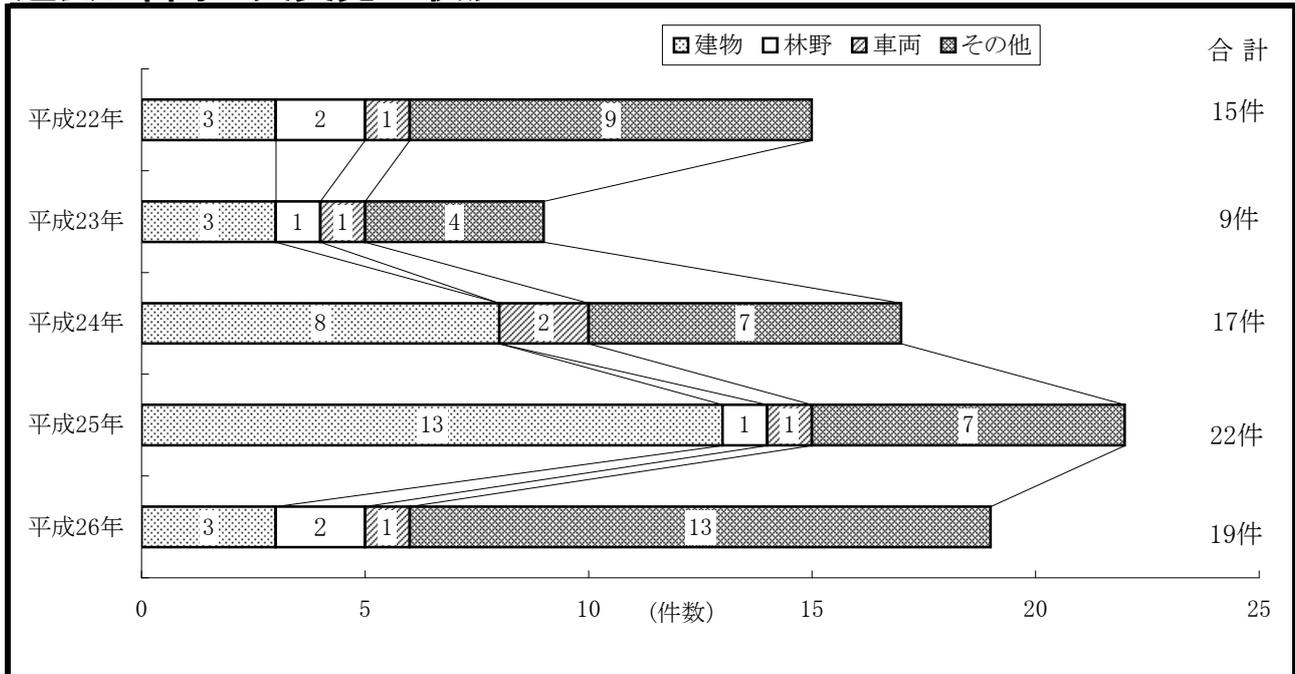
## 火災発生状況

区 分		年 別				
		平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
全 国	火 災 件 数	46,620	50,006	44,189	48,095	
	出 火 率	3.7	3.9	3.5	3.7	
	1件当り損害額(千円)	2,183	2,256	2,030	1,890	
三 重 県	火 災 件 数	771	847	714	843	
	出 火 率	4.2	4.6	3.9	4.5	
	1件当り損害額(千円)	1,692	2,041	2,334	1,614	
菰野町	火 災 件 数	15	9	17	22	19
	出 火 率	3.7	2.2	4.1	5.3	4.7
	1件当り損害額(千円)	514	322	1,278	2,601	656

※出火率=出火件数/人口×10,000

※菰野町人口40,688人(平成26年12月31日現在)

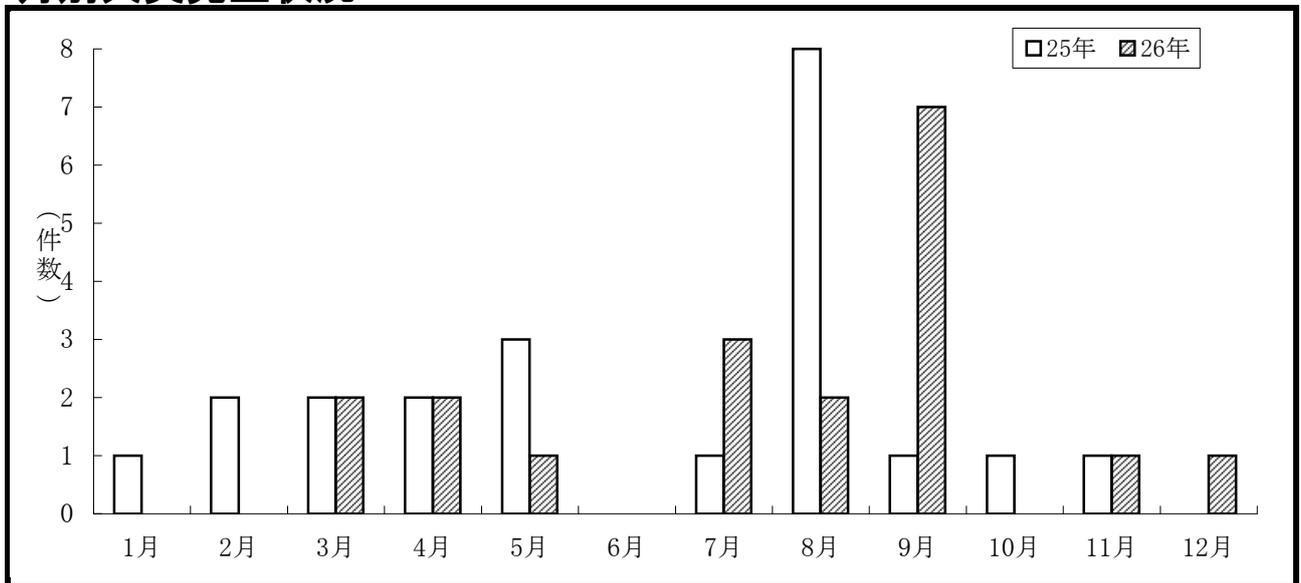
## 過去5年間の火災発生状況



## 地区別火災発生状況

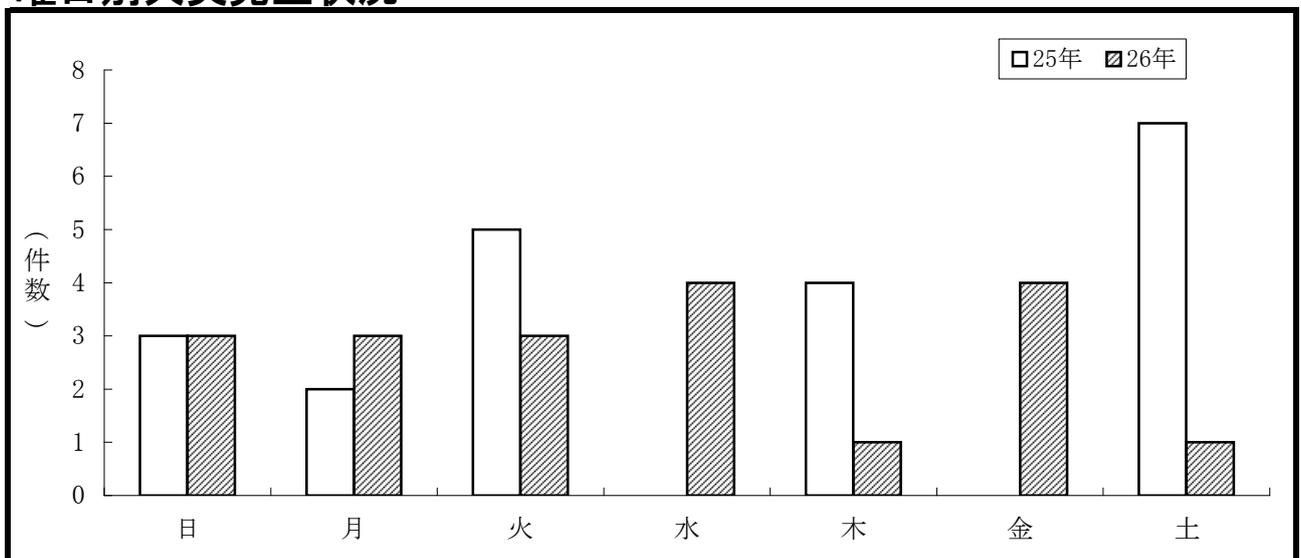
区分 地区	火災 件数	火災種別				建物 焼損面積 (㎡)	林野 焼損面積 (a)	焼損棟数					り 災世帯数	損害額 (千円)	死傷者	
		建物 火災	林野 火災	車両 火災	その他 火災			全 焼	半 焼	部分 焼	ぼ や	合 計			死 者	負 傷者
菰野	6	1		1	4	60		1				1	1	12,127	1	1
鵜川原	2				2									7		1
竹永	2	1			1						1	1		103		
朝上	2	1	1			14	1			1		1	3	235		
千種	7		1		6		1									1
合計	19	3	2	1	13		2	1		1	1	3	4	12,472	1	3

## 月別火災発生状況



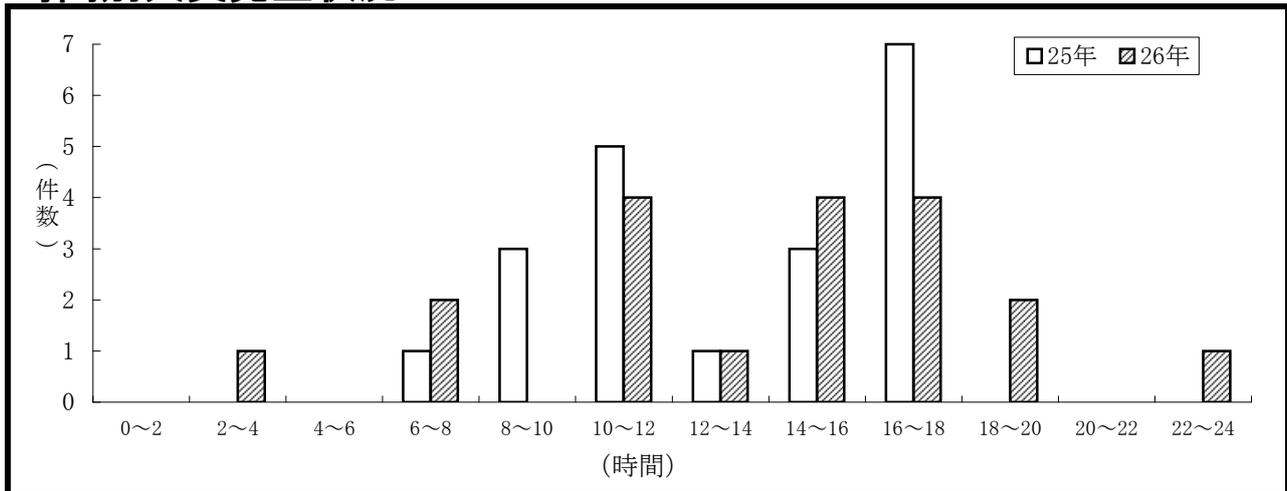
## 曜日別火災発生状況

※ 25年中は発生日不明8件



## 時間別火災発生状況

※ 26年中は発生時刻不明1件



## 火災出場状況

区分	火 災					火 災 以 外				管外
	建 物	林 野	車 両	その他	計	警 戒	誤 報 誤 認 虚 報	その他	計	
署 単 独 出 場	2			4	6	41			41	2
1 次 出 場		2	1	9	12		1		1	
2 次 出 場	1				1		1	1	2	
3 次 出 場										
事 後 聞 知										
出 場 件 数	3	2	1	13	19	41	2	1	44	2

## 出場区分詳細

出場区分	消防本部・消防署出場車両	消防団出場車両
署 単 独 出 場	タンク車・ポンプ車・指揮車 1~3車両	
1 次 出 場	タンク車・ポンプ車・指揮車・(救急車) 2~4車両	地元分団及び本部分団 1~4車両
2 次 出 場	タンク車・ポンプ車・指揮車・(はしご車)・(救急車)・(救助工作車) 2~6車両	地元分団及び応援分団 4~7車両
3 次 出 場	タンク車・ポンプ車・指揮車・(はしご車)・(救急車)・(救助工作車) 2~6車両	全分団 12車両
事 後 聞 知	タンク車・指揮車 1~2車両	

※ 報知電話 = 119番(携帯電話等含む)  
 加入電話 = 一般加入電話  
 事後聞知 = 鎮火後に覚知したもの

## 火災発生状況及び出火原因状況

番号	火災種別	出火日時	出火場所	※覚知別	天候	風向	風速 (m/s)	気温 (℃)
1	建物	3月18日 3時30分	竹永(竹成)	報知電話	晴	西北西	1	9
2	その他	3月24日 14時20分	菰野(菰野)	報知電話	晴	南東	3	18
3	その他	4月13日 11時00分	千種(潤田)	報知電話	晴	東北東	1	14
4	その他	4月16日 10時40分	千種(千草)	報知電話	晴	北西	5	22
5	その他	5月9日 14時08分	千種(千草)	報知電話	晴	西北西	10	20
6	建物	7月9日 14時30分	菰野(菰野)	報知電話	晴	西南西	5	23
7	建物	7月16日 7時45分	朝上(杉谷)	報知電話	晴	北東	1	26
8	その他	7月29日 時刻不明	鵜川原(下村)	報知電話	曇	南	2	26
9	その他	8月16日 14時00分	竹永(永井)	報知電話	雨	西北西	8	25
10	その他	8月29日 13時40分	菰野(菰野)	報知電話	曇	南	3	27
11	その他	9月10日 23時15分	千種(潤田)	報知電話	曇	西北西	1	23

	湿度	出火原因等			被害状況
	(%)	発火源	経過	着火物	
	97	たばこ	消したはずのものが再燃する	木屑、かんな屑のこぎり屑	廃棄物集積テナ内の廃棄物 1 m <sup>2</sup> を焼損
	23	枯草焼き	火の粉が散り遠くへ飛火する	枯草	河川内の雑草を焼損
	39	枯草焼き	火の粉が散り遠くへ飛火する	枯草	空地の笹林を焼損
	27	枯草焼き	火の粉が散り遠くへ飛火する	枯草	田の周囲の枯れ草を焼損 負傷者 1 名発生
	43	たき火の火の粉	火の粉が散り遠くへ飛火する	その他（青草）	河川法面の草を焼損
	96	雷（間接雷）	落雷する	積算電力量計	火元建物を全焼 隣接建物を部分焼
	83	ローソク	火源が動いて接触する	ふとん、座ぶとん寝具	居室内の収容物及び内壁を焼損
	83	不明	不明	枯草	河川堤防の枯草を焼損
	91	直接雷	落雷する	その他	電柱上部の機器を焼損
	52	たき火	可燃物が火源の上に転倒落下する	第 1 石油類	焼却中にガソリンを右足にかぶり引火 火傷の負傷者 1 名
	84	不明	放火の疑い	座席シート	廃車両の室内部を焼損

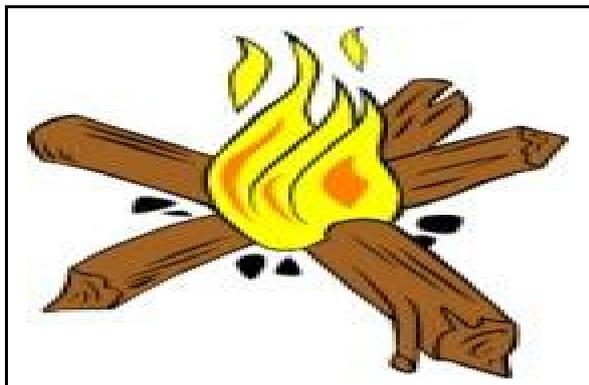
※ 報知電話 = 119番(携帯電話等含む)  
 加入電話 = 一般加入電話  
 事後聞知 = 鎮火後に覚知したもの

## 火災発生状況及び出火原因状況

番号	火災種別	出火日時	出火場所	※覚知別	天候	風向	風速 (m/s)	気温 (℃)
12	その他	9月19日 16時57分	千種(千草)	報知電話	曇	南	3	27
13	その他	9月19日 時刻不明	菰野(菰野)	報知電話	晴	北西	2	21
14	林野	9月21日 16時10分	千種(千草)	報知電話	晴	南	2	25
15	林野	9月22日 10時40分	朝上(榊)	報知電話	晴	東	1	24
16	その他	9月23日 11時30分	鵜川原(下村)	報知電話	晴	南	4	24
17	その他	9月28日 16時40分	千種(千草)	報知電話	曇	北西	6	24
18	その他	11月17日 17時00分	菰野(菰野)	報知電話	曇	南	1	13
19	車両	12月25日 6時10分	菰野(菰野)	報知電話	曇	北東	1	6

	湿度	出火原因等			被害状況
	(%)	発火源	経過	着火物	
	52	ゴミ焼却炉	その他	ゴミ類	焼却炉内の木くずの焼損
	55	不明	放火の疑い	ゴミ類	林野に投棄されたゴミ類の焼損
	43	枯草焼き	火の粉が散り 遠くへ飛火する	枯草	竹林及び雑木林を焼損
	51	枯草焼き	火の粉が散り 遠くへ飛火する	枯草	竹林及び空地进行焼損
	57	枯草焼き	引火する	衣類	灯油バーナーで焼却中ホースから灯油が噴出 火傷の負傷者1名
	54	不明	不明	枯草	空地の枯草
	74	不明	放火の疑い	ゴミ類	林野のゴミ類及び枯れ枝の焼損
	73	排気管	高温物が触れる	その他	車両の焼損 死者1名

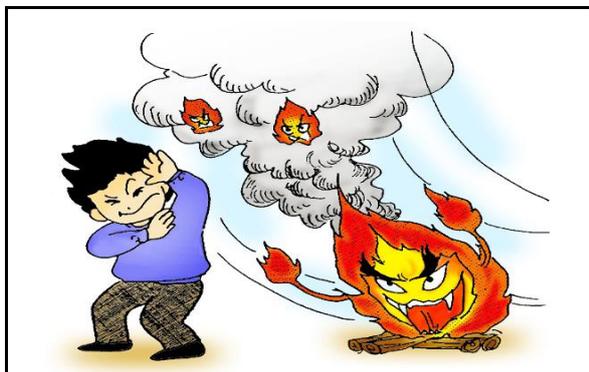
# 絵で見る火災原因(19件)



たき火 2件



雷 2件



枯草焼き 6件



たばこ 1件



不明 5件



その他 3件

# 救急 救助



警防技術交換会は、県内複数の消防本部が連携して、訓練想定に基づく人命救助訓練や火災防ぎょ訓練などを通じて警防技術を披露するものです。菰野町消防署は、救急隊として訓練に参加しました。

警防技術交換会

平成26年10月2日  
於：三重県消防学校

## 救 急

平成26年中の救急件数は1,451件、搬送人員は1,408人でした。これは、1日あたり平均3.9件の出場で、町民29人に1人の割合で救急車が利用されたことになります。

救急件数を事故種別で見ると、急病が915件(65.0%)で最も多く、続いて一般負傷が214件(14.7%)、交通事故が212件(11.7%)、その他が110件(8.6%)となりました。

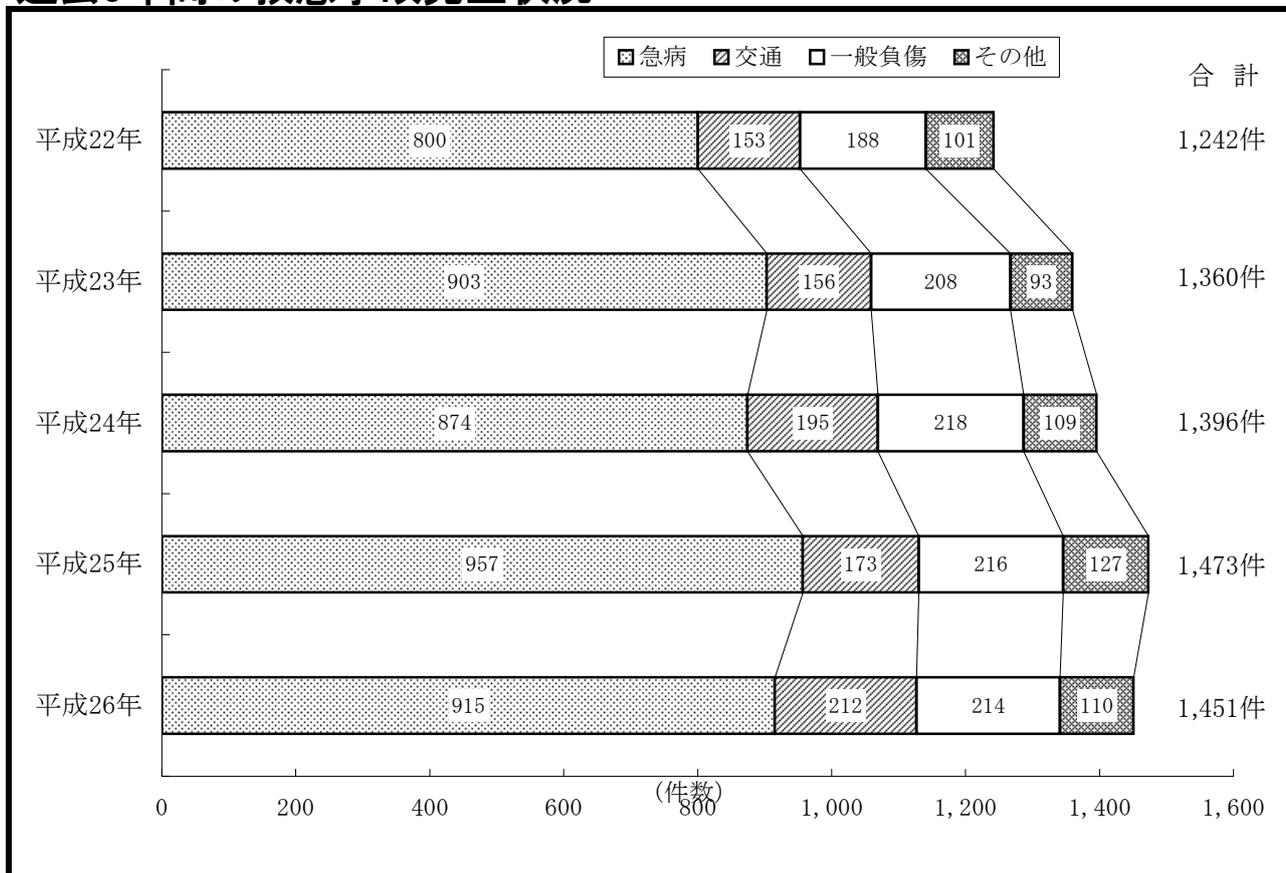
## 救急事故発生状況

区 別		年 別				
		平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
全 国	救急件数	5,463,682	5,707,655	5,802,455	5,909,367	
	発生率	426	446	453	462	
三 重 県	救急件数	78,971	83,223	87,076	90,560	
	発生率	425	449	469	488	
菰野町	救急件数	1,242	1,360	1,396	1,473	1,451
	発生率	309	330	338	355	350

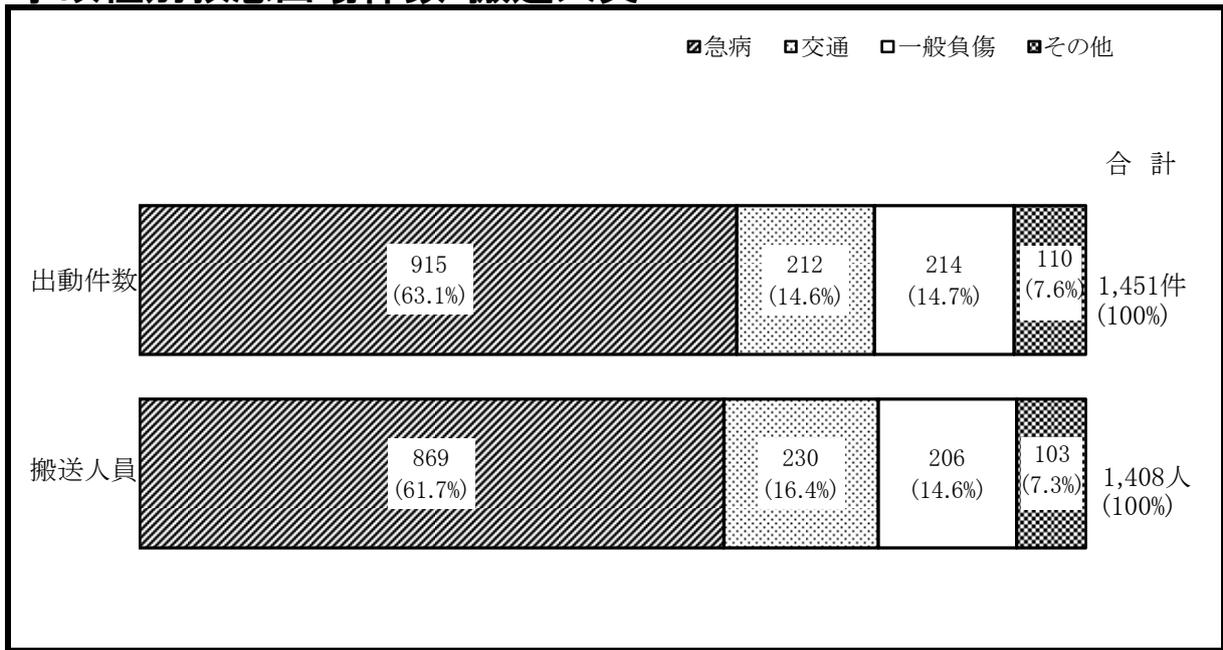
※発生率=救急件数/人口×10,000

※菰野町人口 41,489人(平成26年12月31日現在)

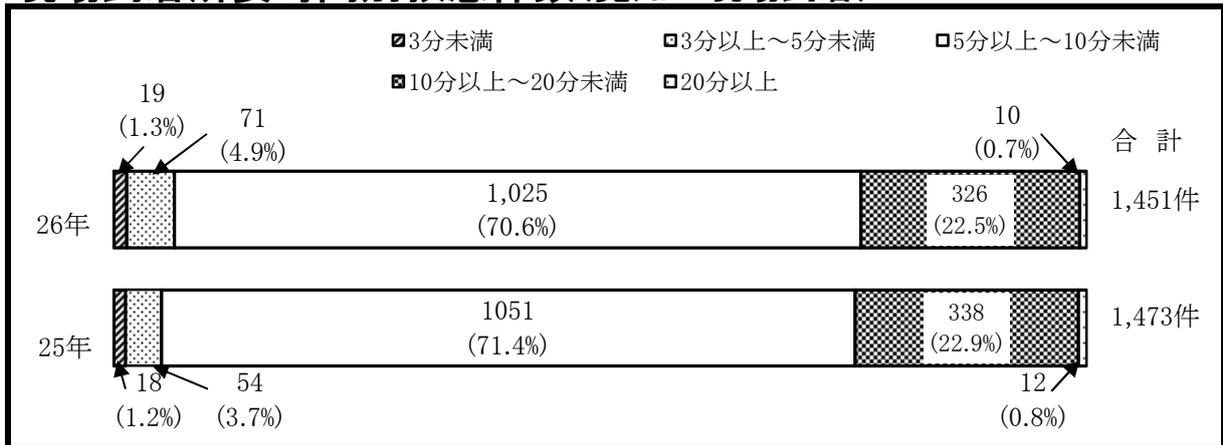
## 過去5年間の救急事故発生状況



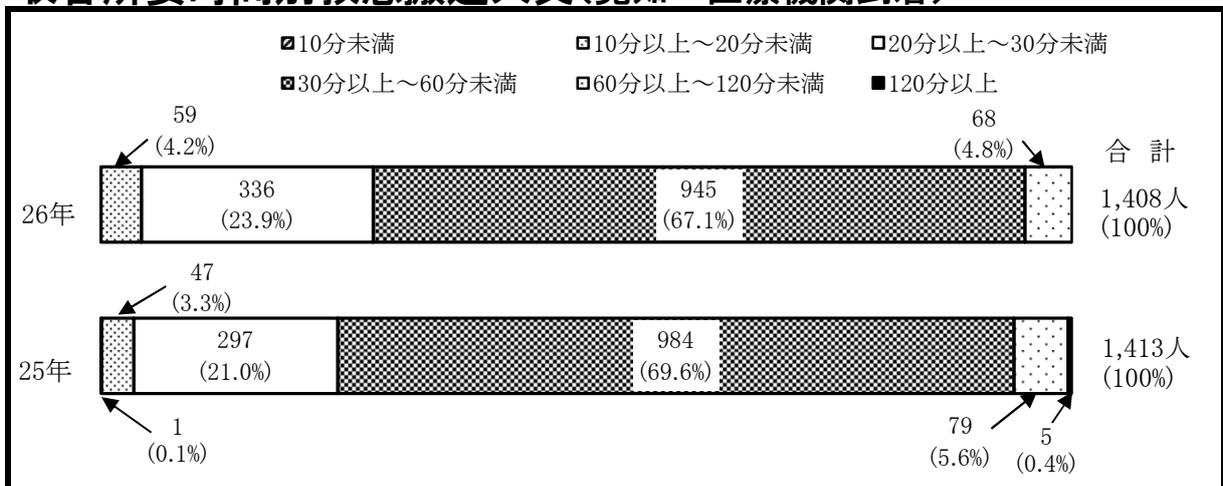
## 事故種別救急出場件数・搬送人員



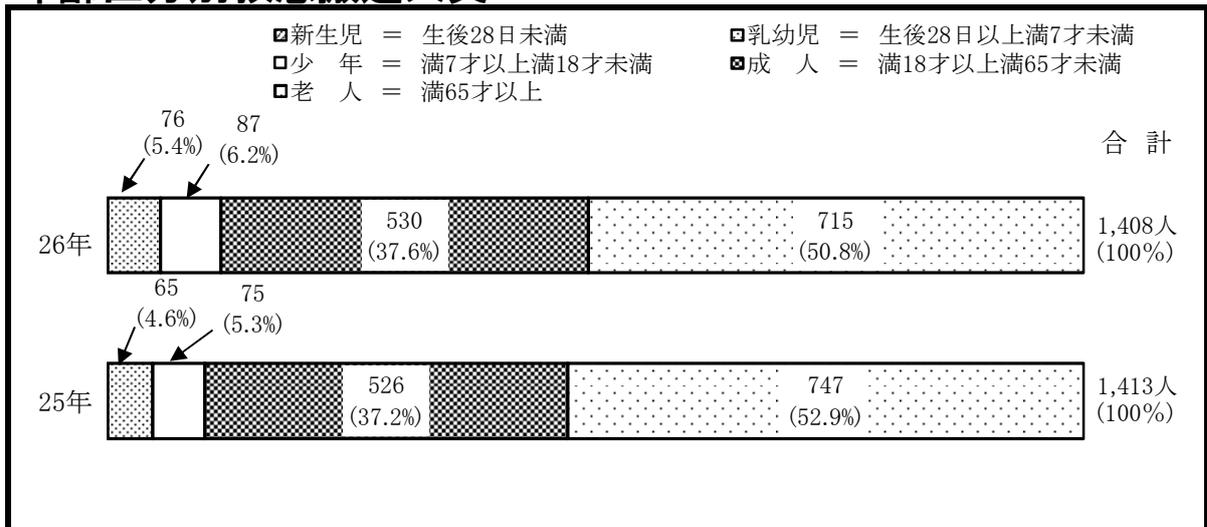
## 現場到着所要時間別救急件数(覚知～現場到着)



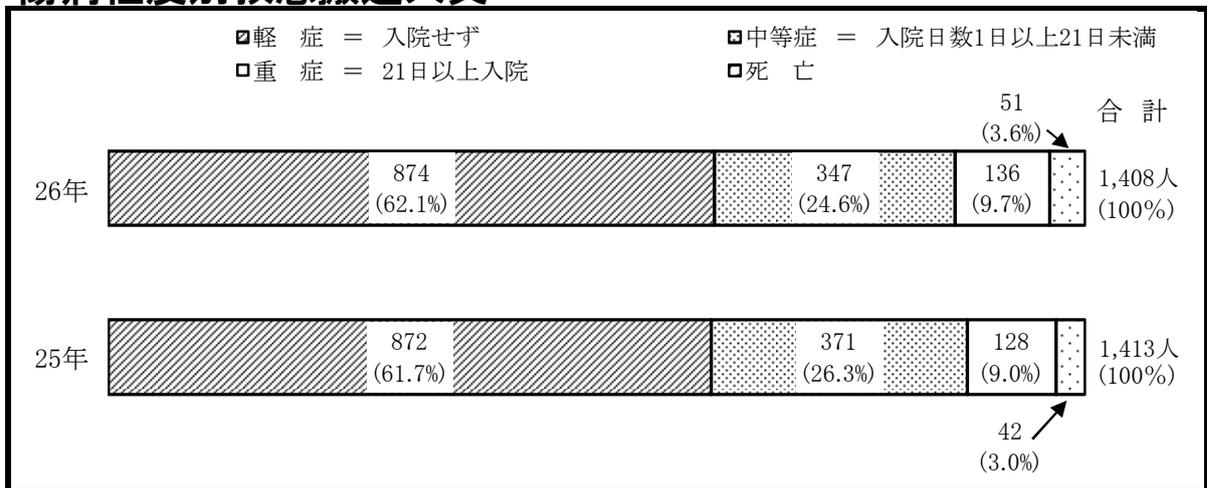
## 収容所要時間別救急搬送人員(覚知～医療機関到着)



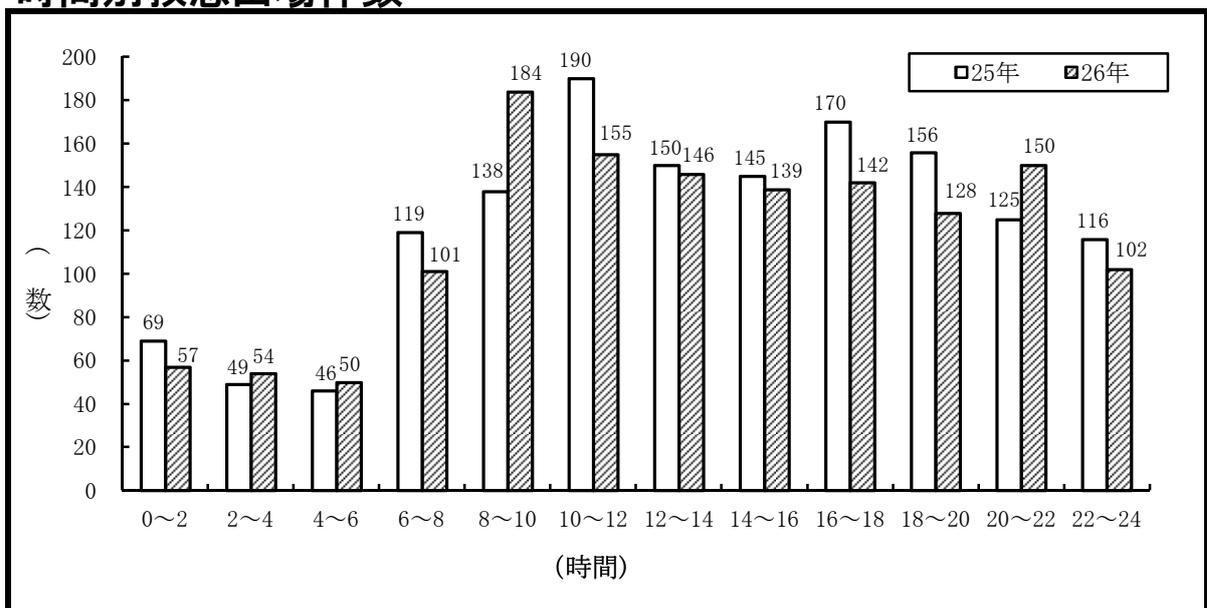
## 年齢区分別救急搬送人員



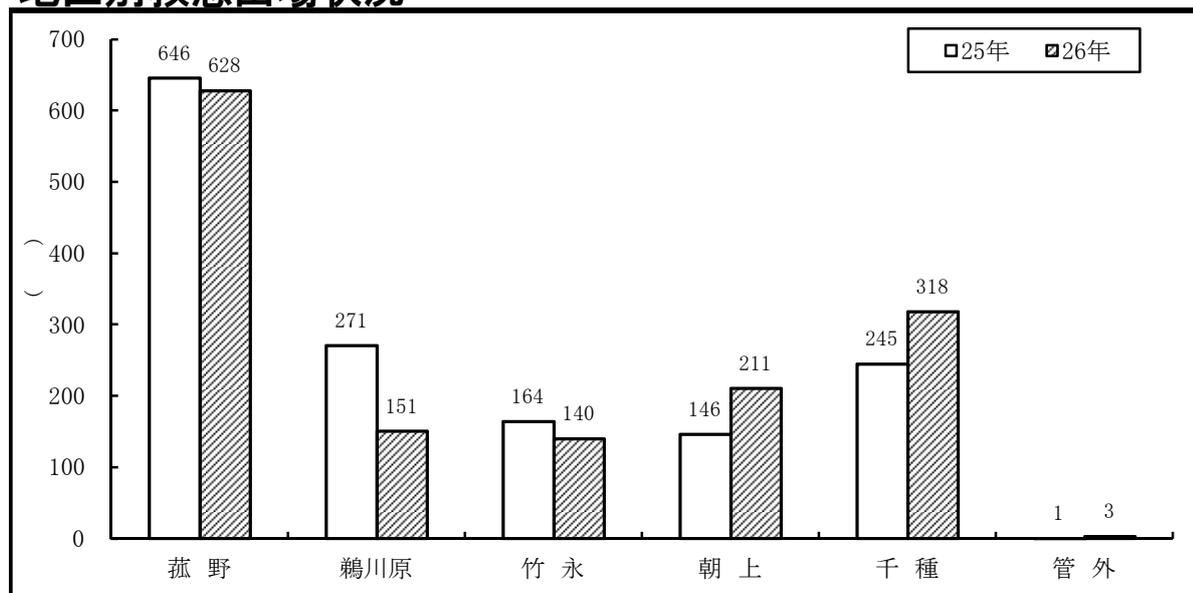
## 傷病程度別救急搬送人員



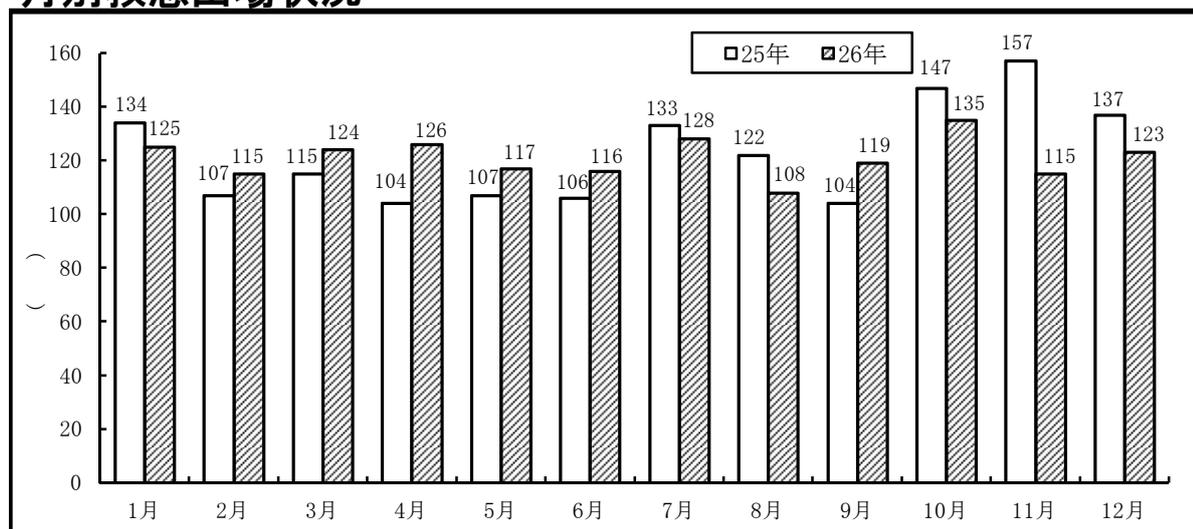
## 時間別救急出場件数



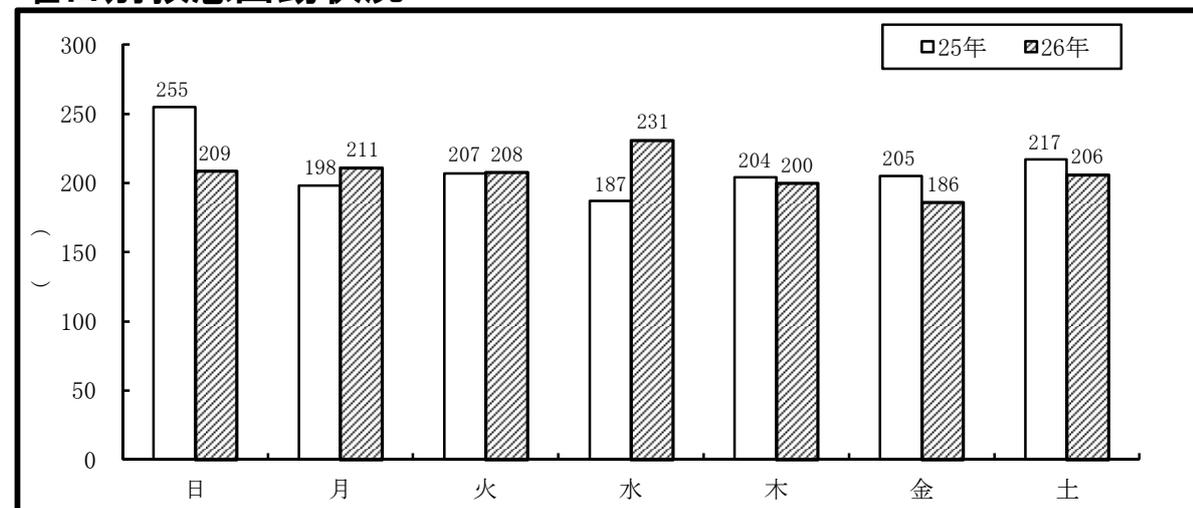
### 地区別救急出場状況



### 月別救急出場状況



### 曜日別救急出動状況



### 年齢区分別・傷病程度別救急搬送人員

年齢区分 傷病程度	新生児	乳幼児	少年	成人	老人	26年合計	25年合計
死亡				7	44	51	42
重症			1	34	101	136	128
中等症		11	13	92	231	347	371
軽症		65	73	397	339	874	872
その他							
合計		76	87	530	715	1,408	1,413

### 事故種別・年齢区分別救急搬送人員

事故種別 年齢区分	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	26年合計	25年合計
新生児													
乳幼児				11			20			44	1	76	65
少年				37		6	12	1		30	1	87	75
成人				124	17	6	60	4	6	292	21	530	526
老人	2			58	4		114	1	1	503	32	715	747
合計	2			230	21	12	206	6	7	869	55	1,408	1,413

### 事故種別・傷病程度別救急搬送人員

事故種別 傷病程度	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	26年合計	25年合計
死亡				1			4		1	44	1	51	42
重症	1			12	1		29			81	12	136	128
中等症				24	3	3	35			242	40	347	371
軽症	1			193	17	9	138	6	6	502	2	874	872
その他													
合計	2			230	21	12	206	6	7	869	55	1,408	1,413

## 事故種別・時間別救急出場件数

区分	事故種別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	26年合計	25年合計
休日		1			33		7	47	4	3	181	4	280	329
休日以外の日		3			179	20	6	167	2	9	734	51	1,171	1,144
時間内	0～2				3			5	1	3	46	1	59	69
	2～4				3	1		5			43	3	55	49
	4～6				6			6			43		55	46
	6～8				22			16		3	64		105	119
	8～10				48	2	2	31	1		103	5	192	138
	10～12	1			25	5	2	21			90	13	157	190
	12～14	2			18	3	5	32			83	4	147	150
	14～16	1			26	4	1	26		1	72	10	141	145
	16～18				27	2	1	21		1	83	7	142	170
	18～20				18	2		18	1	1	88	6	134	156
	20～22				14	1	2	25	1	1	107	4	155	125
	22～24				2			8	2	2	93	2	109	116
26年計		4			212	20	13	214	6	12	915	55	1,451	
25年計		3			173	26	11	216	5	21	957	61		1,473

## 事故種別・応急処置件数

事故種別	急病	交通	一般負傷	その他	合計
止血	9	37	50	11	107
固定	11	179	66	24	280
人工呼吸	3		1	2	6
心肺蘇生	37		4	1	42
酸素吸入	227	24	19	22	292
気道確保	44		4	1	49
気道確保(特定行為)	14		1		15
保温	320	81	64	37	502
被覆	2	26	40	9	77
除細動	7		1		8
静脈路確保	12		3	1	16
薬剤投与	7		3		10
その他	2,864	694	578	301	4,437
合計	3,557	1,041	834	409	5,841

※人工呼吸は、単独で行った場合のみ計上。その他は血圧、血中酸素飽和度の測定、聴診器による呼吸音聴取等から計上。

## 事故種別・医療機関別救急搬送人員

告示別等	事故種別		急病		交通		一般負傷		その他		26年合計		25年合計	
	開設別			管外		管外		管外		管外		管外		管外
救急告示医療機関	国立						1	1	2	2	3	3	2	2
	公立		368	368	92	92	86	86	54	54	600	600	656	656
	公的		455	82	131	21	116	32	40	14	742	149	642	107
	私的	病院	31	21	3	3	2	2	7	6	43	32	83	66
		診療所											1	1
	計		854	471	226	116	205	121	103	76	1,388	784	1,384	832
その他の医療機関	国立													
	公立													
	公的		1	1							1	1	3	3
	私的	病院	6	5							6	5	18	17
		診療所	8	7	4		1	1			13	8	8	6
	計		15	13	4		1	1			20	14	29	26
計	国立						1	1	2	2	3	3	2	2
	公立		368	368	92	92	86	86	54	54	600	600	656	656
	公的		456	83	131	21	116	32	40	14	743	150	645	110
	私的	病院	37	26	3	3	2	2	7	6	49	37	101	83
		診療所	8	7	4		1	1			13	8	9	7
	計		869	484	230	116	206	122	103	76	1,408	798	1,413	858
その他の場所	接骨院等													
	その他													
	計													
26年計			869	484	230	116	206	122	103	76	1,408	798		
25年計			899	540	183	101	210	130	121	87			1,413	858

## 救助出場状況

平成26年中は、19件の救助出場があり、救助人員は11名でした。当町の約3分の1が山岳地帯であるため山岳救助事案が多く、全体の約60%を占めています。

番号	事故種別	覚 知 日 時	※覚 知 別	発 生 場 所
1	その他 (山岳)	1月 6日 13時 08分	加 入 電 話	菰 野 (湯の山地内)
2	その他	1月 11日 14時 47分	加 入 電 話	朝 上 (田光地内)
3	その他	2月 16日 0時 14分	報 知 電 話	菰 野 (宿野地内)
4	交 通	4月 9日 10時 58分	報 知 電 話	千 種 (千草地内)
5	その他 (山岳)	5月 7日 11時 38分	報 知 電 話	菰 野 (湯の山地内)
6	交 通	5月 19日 15時 47分	報 知 電 話	朝 上 (田口地内)
7	交 通	5月 27日 6時 38分	報 知 電 話	鵜川原(吉沢地内)
8	その他 (山岳)	6月 12日 14時 48分	報 知 電 話	菰 野 (湯の山地内)
9	その他 (山岳)	6月 15日 11時 11分	加 入 電 話	菰 野 (湯の山地内)
10	交 通	6月 19日 8時 30分	加 入 電 話	鵜川原(川北地内)
11	その他 (山岳)	7月 25日 14時 49分	加 入 電 話	菰 野 (湯の山地内)
12	その他 (山岳)	8月 28日 14時 53分	報 知 電 話	菰 野 (湯の山地内)
13	その他	9月 10日 2時 43分	報 知 電 話	千 種 (潤田地内)
14	その他 (山岳)	11月 8日 11時 07分	加 入 電 話	菰 野 (湯の山地内)
15	その他 (山岳)	11月 9日 9時 23分	報 知 電 話	千 種 (千草地内)
16	その他 (山岳)	11月 12日 14時 14分	報 知 電 話	菰 野 (湯の山地内)
17	その他 (山岳)	12月 21日 15時 32分	加 入 電 話	菰 野 (湯の山地内)
18	その他 (山岳)	12月 25日 9時 11分	加 入 電 話	菰 野 (湯の山地内)
19	交 通	12月 25日 14時 46分	報 知 電 話	朝 上 (田光地内)

※ 報 知 電 話 = 119番 (携帯電話等含む)  
加 入 電 話 = 一般加入電話

	出場車両	人員	事故概要等	救助概要等
	可搬ポンプ車	4	御在所岳裏道登山道藤内小屋付近で、倒れた	先着の防災航空隊が救出し、ヘリコプターで三滝川河川敷へ搬送した
	救助工作車 救急1号車	4 3	自動車の中での自損行為	車内にて、生命兆候が明確に無かったため警察に引き継ぎを行った
	救助工作車 救急1号車	4 3	自動車が川に転落し、自力脱出困難となった	要救助者は先着の救急隊が救出済みであったため、照明の確保及びハイブリット車の漏電防止措置を行った
	救助工作車 救急予備車	4 3	軽自動車が道路脇の山林に転落し、運転手1名が自力脱出困難となった	車両の固定をした後、要救助者をバックボードを使用した全身固定を行い、車外に救出した
	広報車	4	御在所岳裏道登山道で、転倒し、運転手1名が自力脱出困難となった	要救助者の応急手当を実施後に、防災航空隊がヘリコプターで医療機関へ搬送した
	救助工作車 救急1号車	4 3	自動車が田んぼに転落し、運転手1名が自力脱出困難となった	出場途上で関係者により救出されたとの情報が入り、途中帰所となった
	救助工作車 救急1号車	4 3	交差点内での自動車同士の衝突事故で、横転した車の1名が自力脱出困難となった	要救助者をバックボードを使用した全身固定を行い、車外に救出した
	広報車	4	御在所岳山上公園アゼリア前で、動けなくなった	要救助者の介添えを行い、下山した
	広報車	4	御在所岳一の谷新道で、滑落した	要救助者の全身固定を実施後に、防災航空隊がヘリコプターで医療機関へ搬送した
	救助工作車 救急1号車	4 3	自転車が川に転落した	現場が四日市市との境界付近であり、先着した四日市消防が搬送開始していたため、途中帰所となった
	広報車	4	国見岳から御在所ロープウェイ山上公園駅に向けて登山中、動けなくなった	要救助者と接触時、症状が改善していたため不搬送となり、救助活動無し
	広報車	4	御在所岳裏道登山道で、滑落した	要救助者の全身固定を実施後に、防災航空隊がヘリコプターで医療機関へ搬送した
	ポンプ車 救急1号車	3 3	搬送困難な傷病者の先着救急隊への応援	救急隊3名では屋外への搬送が不可のため、活動支援を行った
	広報車	4	御在所岳大黒岩付近で、身動きが取れなくなった	先着の防災航空隊が救出し、ヘリコプターで三滝川河川敷へ搬送した
	広報車	4	釈迦ヶ岳水無沢ルートで、滑落した	要救助者の頸椎固定を実施後に、バスケット担架で搬送した
	広報車	4	鎌ヶ岳湯ノ森谷の沢で、滑落した	先着の防災航空隊が救出し、ヘリコプターで津ヘリポートへ搬送した(その後、津消防救急隊により医療機関へ搬送)
	広報車	4	御在所岳鷹見岩付近で、滑落した	先着の防災航空隊が救出し、ヘリコプターで三滝川河川敷へ搬送した
	防災広報車	4	御在所岳大黒滝付近で、滑落した	先着の防災航空隊が救出し、ヘリコプターで医療機関へ搬送した
	救助工作車 救急1号車	4 3	4tトラックと軽自動車の衝突事故で、軽自動車の運転手1名が自力脱出困難となった	車両のウインチを使用してハンドルを引き上げ、車外に救出した

## 事故種別出場件数・救助人員

種別 区分	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	爆 発 事 故	そ の 他 の 事 故	26 年 合 計	25 年 合 計
	建 物	他										
出場件数			5							14	19	17
救助人員			3							8	11	12

## 事故種別・救助出場人員

種別 区分	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	爆 発 事 故	そ の 他 の 事 故	26 年 合 計	25 年 合 計
	建 物	他										
救助隊員			20							55	75	66
消防隊員												
救急隊員			16							9	25	15
合 計			36							64	100	81

## 事故種別・救助出場車両

種別 車両	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	爆 発 事 故	そ の 他 の 事 故	26 年 合 計	25 年 合 計
	建 物	他										
救助工作車			5							2	7	4
タンク車												
ポンプ車										1	1	
救急車			5							3	8	5
指揮車												
広報車										9	9	13
積載車												
その他の車両										2	2	
合 計			10							17	27	22

※その他の車両とは、小型動力ポンプ付積載車と防災広報車

# 気象



大災害時に地上系通信機器が使用できない場合を想定とした訓練として、衛星系電話を使用した情報伝達訓練を行いました。

菰野町総合防災訓練

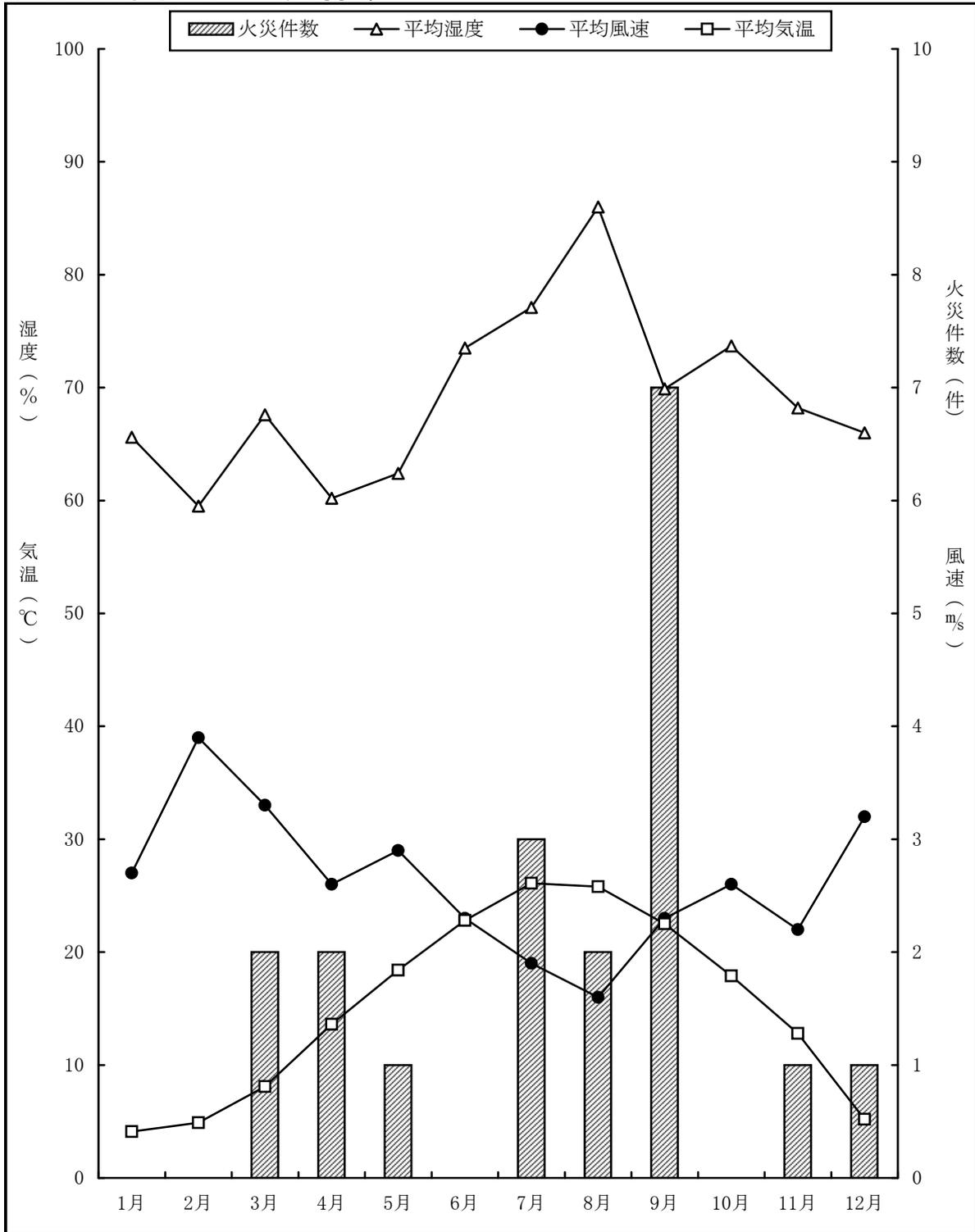
平成26年8月31日

於：菰野町消防署敷地内

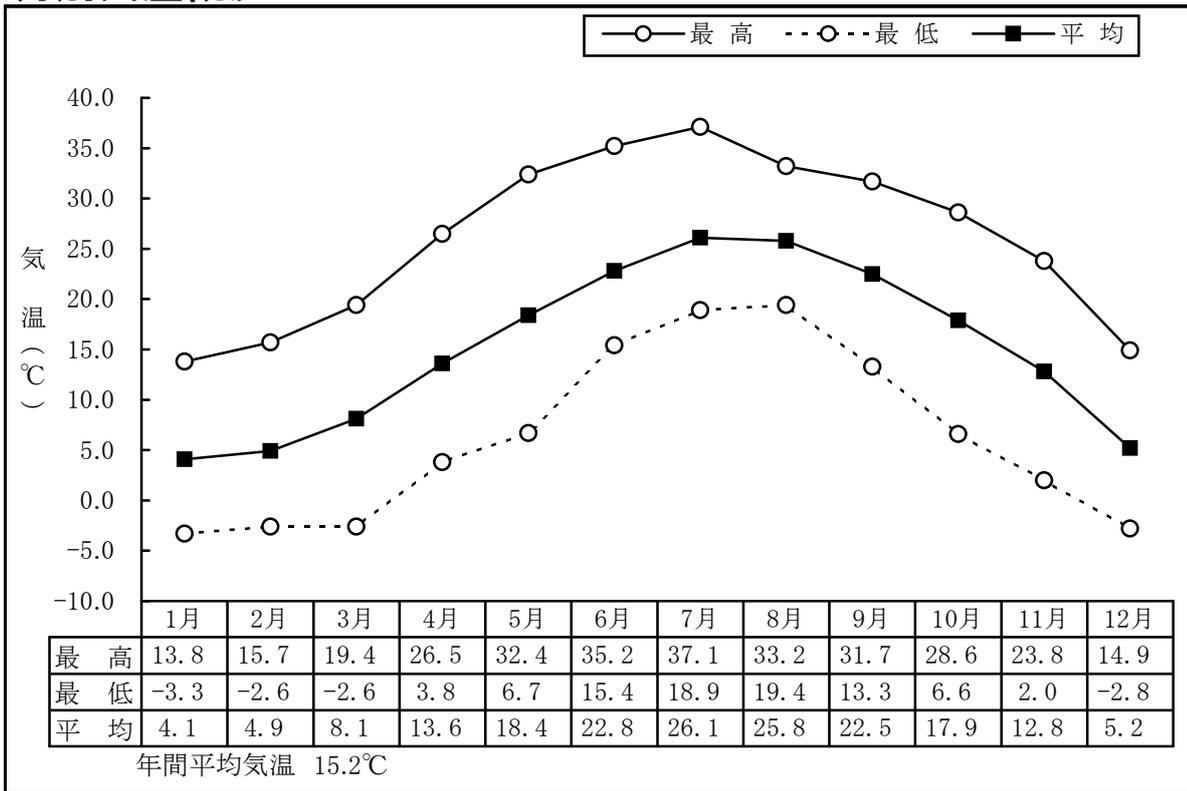
# 気象

開署以来、気象情報観察装置による1時間毎の自動定時観測（風速・気温・湿度・降水量等）を行い日報・月報記録の作成を続けています。また台風、豪雨や警報発令時には定時以外においても必要に応じた観測体制をとっています。

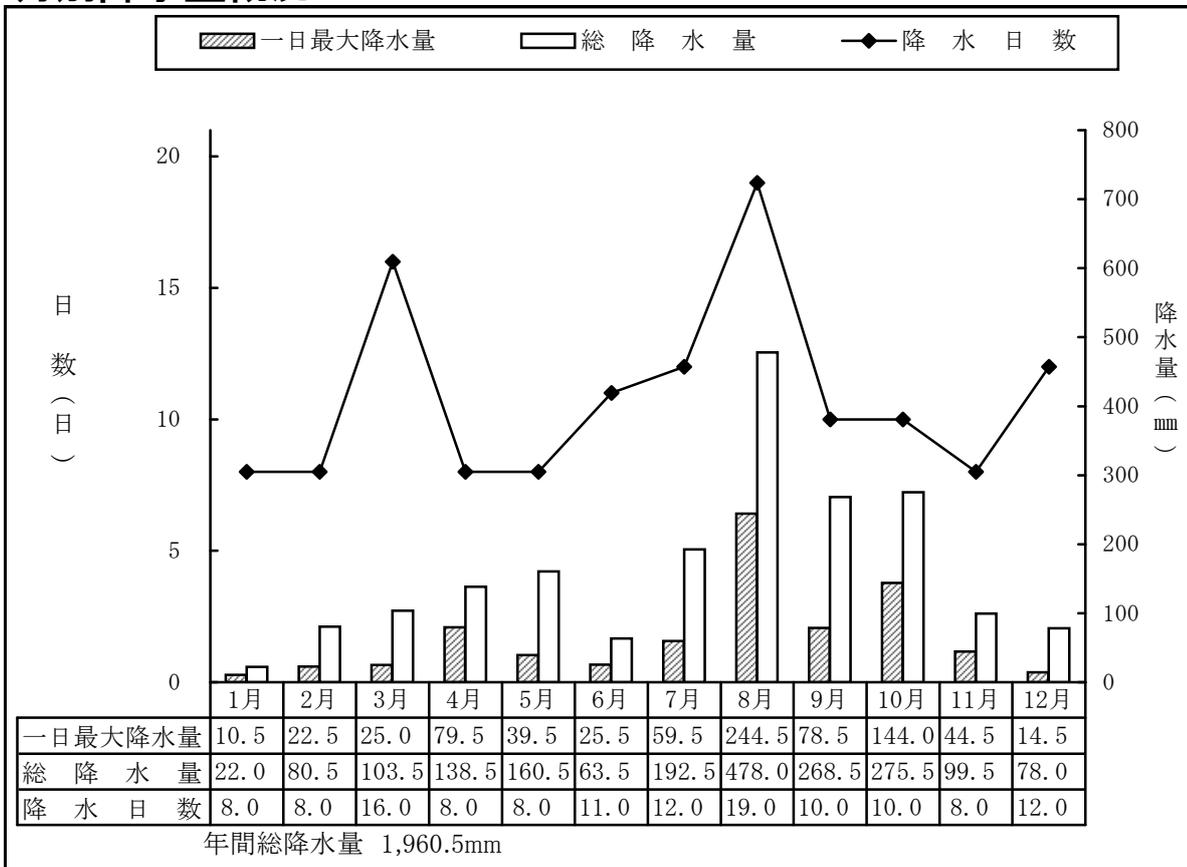
## 月別気象状況と火災件数



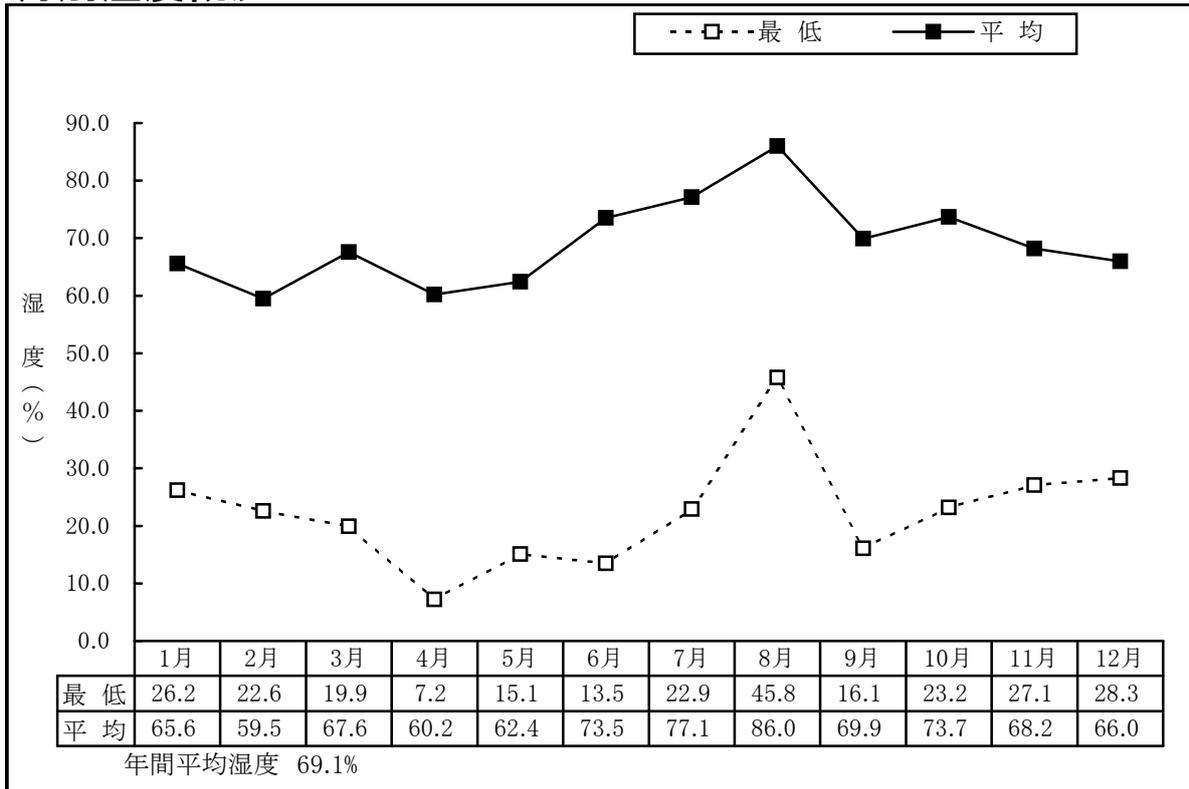
## 月別気温概況



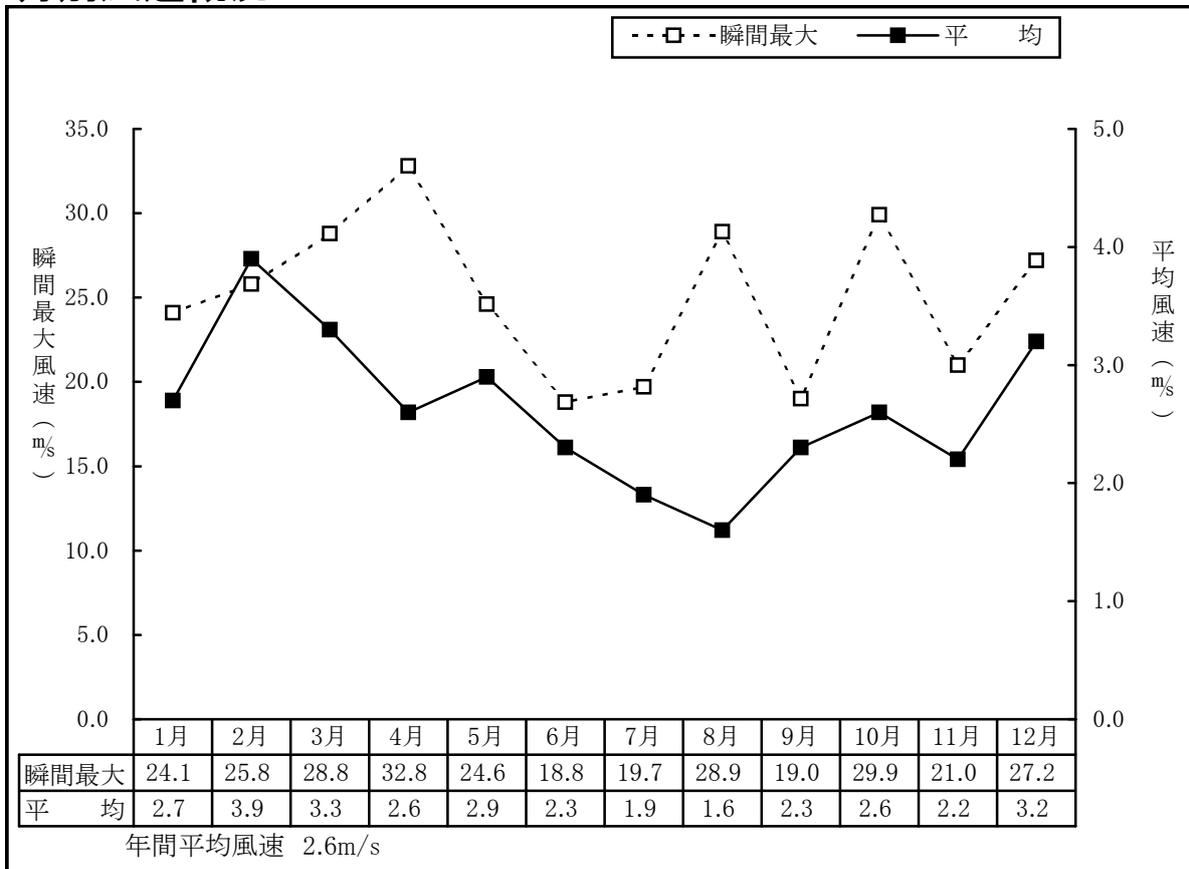
## 月別降水量概況



## 月別湿度概況



## 月別風速概況



# 気象通報受信状況

気象通報			月 別												合計
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
特別警報	気象特別警報	暴風													
	特別警報	暴風													
	大	大雨								1					1
	大	大雪													
警報	気象警報	暴風										1			1
	警報	暴風													
	大	大雨							1	1		2			4
	大	大雪													
注意報	気象注意報	洪水								1		2			3
	注意報	大雨				1		5	6	12	5	4			33
	注意報	大雪	1	2	1									1	5
	注意報	雷	1		3	2	2	11	16	16	5	5	4	3	68
	注意報	強風		1	3	2			1	1		3		3	14
	注意報	融雪													
	注意報	濃霧		2	1	1	1	2	1	1			1	1	11
	注意報	乾燥	3	3	1	4	4				1		1	1	18
	注意報	なだれ													
	注意報	低温	5	4										1	10
	注意報	霜			10	8									18
	注意報	着氷													
	注意報	着雪		2											2
注意報	洪水				1		5	5	11	4	4			30	
高温注意情報									8	4					12
竜巻注意情報					1			1	4	8	2	1			17
火災気象通報			4	13	3	15	5				1	2	2	2	47
気象情報	大雪に関する情報		3											3	6
	発達する低気圧に関する情報			1											1
	大雪と強風及び高波に関する情報			9										1	10
	雷と突風に関する情報				3					1	2		2		8
	大雨に関する情報				4		3	2							9
	黄砂に関する情報					2									2
	大雨と高波に関する情報						3								3
	台風第8号に関する情報							7							7
	高温に関する情報							1							1
	台風第11号に関する情報								12						12
	記録的な大雨に関する情報								1						1
	大雨と雷及び突風に関する情報										3				3
	台風第18号に関する情報											10			10
	台風第19号に関する情報											11			11
日照不足に関する情報										1				1	
土砂災害警戒情報(菰野町)										1		1			2

- 注1) 同一種類の注意報・警報を継続する場合に発表された注意報・警報は回数に含めない。
- 注2) 注意情報及び、気象情報については三重県を対象に発表された回数を示す。
- 注3) 火災気象通報は、三重県北部を対象に発表された回数を示す。
- 注4) 特別警報・警報・注意報・土砂災害警戒情報は、菰野町を対象に発表された回数を示す。